

オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会 議事録

開催日時	令和元年7月19日(金) 9時15分～15時30分
開催場所	東京都庁第一本庁舎25階 117会議室
出席者	<p>(委員長) 小室 明子</p> <p>(委員) 守泉 誠</p> <p>小海 隆樹</p> <p>丸山 正</p> <p>(指定管理者) 以下9施設の担当者</p> <p>東京都障害者総合スポーツセンター</p> <p>東京都多摩障害者スポーツセンター</p> <p>武蔵野の森総合スポーツプラザ</p> <p>東京体育館</p> <p>東京武道館</p> <p>東京辰巳国際水泳場</p> <p>駒沢オリンピック公園総合運動場</p> <p>有明テニスの森公園テニス施設</p> <p>若洲海浜公園ヨット訓練所</p>

指定管理者評価制度の説明【所管局】

発言者	内容
渡辺課長	<p>定刻になりましたので、ただ今から、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆さまには、お忙しい中ご出席頂きまして、誠にありがとうございます。本日、委員会事務局として、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部施設管理担当課長の渡辺でございますけれども、私が進行を務めさせていただきますと思います。</p> <p>まず、委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。席の順にお名前を申し上げます。</p> <p>オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部長の、小室委員です。</p>
小室委員長	小室です。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	続きまして、公認会計士の守泉委員です。
守泉委員	守泉です。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	続きまして、日本女子体育大学教授の、小海委員です。
小海委員	小海です。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事の、丸山委員です。
丸山委員	丸山です。よろしくどうぞ。
渡辺課長	<p>なお、本委員会は、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会設置要綱に基づいて組織されておりまして、第4及び第6により、委員長及び議長は、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部長の職にある者を充てることとしております。</p> <p>それでは小室委員長、委員会の運営・進行をお願いいたします。</p>
小室委員長	<p>本委員会の委員長と議長を務めさせていただきます、小室でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しいところ、当局の指定管理者評価委員会に御出席を賜りまして、ありがとうございます。日頃から委員の皆様におかれましては、東京都のスポーツ行政に関しまして、ご理解とご協力、ありがとうございます。</p> <p>指定管理者制度は、平成15年の地方自治法改正に伴いまして、東京都では平成18年4月から導入しており、14年目を迎えたところでございます。東京都の方針としましては、公の施設の設置者として、管理運営に責任を有することから、更なるサービスの質の向上や安全管理面の徹底等、指定管理者の管理運営状況に対し、第三者の視点を踏まえた評価を毎年度行うこととしております。</p>

発言者	内容
	<p>なお、本日の委員会の会議資料、及び議事録につきましては、後日ホームページで公開することとなっており、委員の皆様におかれましては、公開に先立ちまして、ご確認をお願いしたいと考えております。</p> <p>では、次第に従いまして、指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>溝延 課長代理</p>	<p>会議に先立ちまして、事務局から資料の確認をさせていただきます。</p> <p>お手元のお配りしております資料の一番上に今回の評価委員会の次第がございます。1枚おめくり頂きますと、配布資料ということで7点、資料について列挙しています。以降に、資料1は委員の名簿、続きまして資料2については対象施設及び指定管理者の一覧。そして資料3はA3版になります、指定管理者管理運営状況評価の流れという資料でございます。その後A3版資料4でございますが、各施設ごとの一次評価の資料ということでお配りしてございます。その後またA4の資料に戻りまして、資料5、こちらは本日プレゼンテーションする指定管理者の管理運営状況の資料。そしてその後に資料6としましてA4資料の二次評価の案。資料7としまして最後に設置要綱ということでお配りさせて頂いております。資料について過不足ございましたら、挙手をお願いできますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
<p>渡辺課長</p>	<p>では本日は、オリンピック・パラリンピック準備局所管の体育施設7施設と障害者スポーツセンター2施設、合計9施設について、所管局による一次評価を踏まえまして、評価委員会による二次評価を確定してまいります。</p> <p>なお、評価の審議に先立ち、指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑を行います。まず指定管理者評価の全体の流れについて説明いたします。</p> <p>お手元の資料3をご覧ください。この評価の流れでございますが、まず左側の列の「確認項目」につきましては、大きく「管理状況」と「事業効果」と分けてございます。</p> <p>「管理状況」につきましては、施設管理の面、そして個人情報保護等の面、施設の安全性の確保の面、そして適切な経理処理・財産管理等、そして下の「事業効果」につきましては、利用者促進の取組の効果、そして事業内容や職員対応について利用者の方々の声等について確認をするものでございます。</p> <p>そして左側から2列目ですね、「管理運営状況の確認」。こちらは指定管理者からは毎月、月報という形で履行状況について都のほうにご報告を頂いておりま</p>

発言者	内容
	<p>す。そして年1回程度、実地調査のヒアリングというような形をとっております。</p> <p>また、これ以外に年度終了後の事業報告書、それから財務諸表、そして適宜利用者のアンケート等を提出頂きまして、その取組状況を確認しているところでございます。</p> <p>次に資料の真ん中、一次評価でございますけれども、本評価につきましては所管局として管理運営状況の確認の結果等を踏まえて、年間を通じた管理運営状況について一次評価を出すということになっております。</p> <p>また、確認項目につきまして、それぞれ指定管理者が果たすべき業務に照らして、3段階の評価を行っております。これらの評価の得点の合計点に基づきまして、全確認項目において4段階に分けて評価をしてございまして、S、A+、A、Bの4段階に分けてございます。</p>
渡辺課長	<p>また一次評価につきましては、財務状況の確認ということで、公認会計士である評価委員の守泉先生のご協力も頂きまして、財務状況についても確認しております。また、それぞれ指定管理者の指定の際の特命要件がございまして、継続状況についても確認をしているところでございます。</p> <p>資料の1番右側、二次評価でございます。今回の評価委員会による専門的評価ということでございますけれども、評価委員会は指定管理者の管理運営状況を客観的・総合的に評価するために設置してございまして、外部の委員の方が過半数という構成でございます。</p> <p>評価の内容でございますけれども、一次評価の内容についての検証、そしてそれぞれの項目について専門的な評価を頂くということでございます。また指定管理者のサービス水準の向上や効率的な運営の推進等に関しても助言を頂ければと考えております。</p> <p>二次評価の評価基準につきましては、こちらに記載の通り4段階の評価でございます。</p> <p>なお、管理運営状況評価結果におきまして、あらかじめ定められた基準を満たす場合、次期、次回の指定管理者選定時に加算または減算のいずれかを行うことができる仕組みになっております。</p> <p>例を申し上げますと、加算を行うのはS評価を2年以上連続して取得した場合となっております。例えばS評価を2年、B評価を1年取得した際は最大5%。S評価を2年、AまたはA+評価を1年取得した際は最大10%。S評価を3年連続取得した際は最大20%。こういった範囲内で選定における総得点に加算することができるかと定められております。</p>

発言者	内容
	指定管理者の運営状況評価の流れについては以上でございます。
小室委員長	<p>今の指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして、ご質問等ございませんか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして各施設について所管局による一次評価の結果報告に移ります。</p> <p>午前中は、一次評価の結果報告の後、10分の休憩を挟みまして、障害者スポーツセンター2施設と武蔵野の森総合スポーツプラザにつきまして、指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと存じます。</p> <p>では、東京体育館の一次評価の結果につきまして、事務局よりご報告をお願いいたします。</p>

所管局一次評価【東京体育館】

発言者	内容
渡辺課長	<p>では資料4をご覧ください。A3の資料になります。左側のところに東京体育館と記載がございます。</p> <p>こちらの評価の内容でございますけれども、100%近くの稼働率を誇る当施設において、電気・空調・衛生・建築等の多くの点検保守業務の作業、修繕を実行することが十分できている。また、30年度の団体稼働率は、メインアリーナは100%、屋内プールも99%と極めて高い稼働率を確保していること。さらに自主事業につきましては、参加率が100%を超える事業もあるなど、利用者ニーズをふまえたレッスンを実施しております。</p> <p>こういったことから、得点が右側の上でございますけれども、一次評価結果ということで44点のA+としております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>ただいまの点につきまして、ご質問等はございますでしょうか。</p> <p>続きまして、駒沢オリンピック公園総合運動場の一次評価の結果について、事務局よりご報告をお願いします。</p>

所管局一次評価【駒沢オリンピック公園総合運動場】

発言者	内容
渡辺課長	<p>1枚おめくり頂きまして、左側に駒沢オリンピック公園総合運動場と記載されている資料をご覧ください。</p> <p>評価の内容といたしましては、多数の全国大会を誘致できている。トレーニンググループの個人利用者数について、過去最高の利用者数を実現できている。「公園連絡調整」の担当者を設置しまして、毎朝の打ち合わせや公園管理者も含めた「連絡調整会議」を活用して、情報提供や共有を行い、利用者サービスの維持・向上に努めている。</p> <p>こういったことを評価し、一次評価結果の得点を37点のAとさせて頂きたいと思います。</p> <p>説明は以上です。</p>
小室委員長	<p>ただいまの件につきまして、ご質問はございますでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、東京武道館の一次評価の結果につきまして、ご報告お願いいたします。</p>

所管局一次評価【東京武道館】

発言者	内容
渡辺課長	<p>はい、1枚おめくりください。東京武道館でございます。</p> <p>評価の内容といたしましては、全ての施設において、29年度比較で利用者数は増加している。また、大会誘致や優先受付できめ細かな調整、団体への空き情報の発信等により、高い稼働率を維持できていると。</p> <p>こういったことを評価し、一次評価結果得点34点のA評価とさせて頂きたいと思います。</p> <p>説明は以上です。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これにつきまして、ご質問はございませんか。</p>
小海委員	<p>評価に関して、1番最後の枠の「事業の取組」の「利用者の満足度」という項目、だいたいそのアンケートで9割以上満足していれば二重丸と。それが基準ということですか。</p>

発言者	内容
溝延 課長代理	そうですね。「まあ満足」以上が90%以上の場合は二重丸という評価です。
小海委員	分かりました。まあ、それが当たり前じゃなくてということですよ。
小室委員長	他にご質問がなければ、次のページに移りまして、辰巳国際水泳場をお願いします。

所管局一次評価【東京辰巳国際水泳場】

発言者	内容
渡辺課長	<p>では資料4の東京辰巳国際水泳場の資料をご覧ください。</p> <p>評価の内容でございますけれども、水質検査のダブルチェック等により水質の保持に努めており、利用者から透明度が高いと評価を受けております。また、大規模大会を誘致し、施設環境、大会運営の視点から高い評価を受けております。</p> <p>さらに29年度比較で、個人利用者数が4.4%増加。26年度以降、継続して増加傾向でございます。また、プールの使用率は、メインプール、サブプールとも昨年度を上回っております。さらに事業における各種工夫、ワンポイントアドバイスやスイムチャレンジ記録会、こういったものが見られます。シャトルバスにつきましても、運行ルート複数路線化やバス内部でのサービス。菓子等においての消臭剤を置いたりですね、こういったものに取り組んで向上への姿勢が見られるということでございます。</p> <p>以上のことから一次評価結果の得点を40点のA評価とさせて頂きたいと思っております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>辰巳国際水泳場につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
小海委員	<p>利用状況のところで、29年度比で増加って書かれていて二重丸なんですけど、頂いたデータだと減っているのは私の見間違いですかね。</p>
渡辺課長	<p>工事に入っている期間がありまして、1年で見ると、昨年度は1年間の総数なので多いんですが、同じ期間で見ると30年度のほうが多いということ。</p>
小海委員	<p>数じゃなくてってことですね。</p>
小室委員長	<p>期間で補正しているところがあるってことですね。</p> <p>それは大変失礼いたしました。私どもの説明不足です。</p>
小海委員	<p>他の所もそうですね。</p>

発言者	内容
小室委員長	そうですね。これは申し訳ありませんでした。
渡辺課長	営業期間での比較ってことになります。
小海委員	利用者数は減ってるんだけど、稼働している時の%は増えてるってことですね。
小室委員長	<p>申し訳ありません。ありがとうございます。</p> <p>辰巳は確か年度末に、4か月間休みの期間があったと。だから営業期間の8か月で補正して、算出しているということですね。</p>
守泉委員	<p>利用者アンケートの結果で、「施設の清掃状態（清潔さ）について」の部分で団体利用に対しての「やや不満」が17.6%、個人利用に対して11.3%ということで、他のアンケートの結果に比べてここの部分が飛び抜けていると同時に、団体利用に対して個人の利用の部分が多くなっているんですけども、その部分っていうのは、全体の評価を見てみると、きちんと清掃をしているように、基準以上にやっているのに、なぜこの17%ぐらいの不満が出てくるというふうに考えているのでしょうか。これはやっぱり施設が古いということなのか、あとは個人と団体の部分でここの部分の差っていうのは、単純な差っていうよりも何らかの意味の顕著な差が異常値としてあるのかなっていうことで、団体さんの場合には、あまり相手にしてくれない形なのか、その辺っていうのは現状どうなんです？</p>
小室委員長	<p>この後、ヒアリングで現場の人が来ますから、今の先生の質問はちょっとお預かりして、午後にお聞きすることにいたします。ありがとうございます。</p> <p>あと、ございますでしょうか。</p>
小海委員	<p>今のに補足じゃないですけど、頂いたデータが今年の方しかなないので、例えば昨年度のアンケートと比べてっていうのが見えると話が違うかなと思ったんですけど、毎年この数字だったらちょっとまずいかなと。何か工事があるって、その工事に絡めてそういう不満が出てきたのかなとか。想像でしかないんですけど。</p>
小室委員長	これは重要な質問項目としてヒアリングの時に伺うことにいたしましょう。
守泉委員	<p>本当はね、これ全体的に言えるんですけども、アンケートをやる場合に、こういうふうに、有限の人数なんだけれども何名来るか分からないっていう場合に、計算の仕方があるんですね。これは有限だけれども、無限集合に関して有意数がどのくらい必要なのかというのが計算で出るんですね。74人で、計算してなかったから分かんないんですけど、最低限100いくつかだったと思うんですね。危険率がどのくらいかって設定するんですけども、だから本来であればアンケート</p>

発言者	内容
	<p>ってというのはそういう最低数っていうのを都のほうで設定をして、そこまでは取ってくださってというのが本来のやり方で、それよりあまりにも少ないと、結局一部分の影響ってというのが非常に出てしまって、アンケートとしては適切ではない。だからよく論文なんかでそういうようなチェックしてますかっていうのが審査されて戻ってきちゃったりするんですけど、だから本当はそういうところも考えて頂ければ。必要であったらその資料とか考え方とかってというのは私のほうにあるので、お出ししますけれども。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございます。 他はいかがでしょうか。</p>
丸山委員	<p>私は結構です。</p>
小室委員長	<p>では、次に行きたいと思います。 次は有明テニスの森公園テニス施設ですね。お願いいたします。</p>

所管局一次評価【有明テニスの森公園テニス施設】

発言者	内容
渡辺課長	<p>1枚おめくり頂きまして、有明テニスの森の資料をご覧ください。</p> <p>評価内容といたしましては、日常清掃・定期清掃・害虫駆除等の維持保全業務において、東京都の仕様を上回る頻度で事業計画を策定いたしまして、実施をしております。また、個人情報保護や情報管理について、情報セキュリティ研修として新たに全社員悉皆でeラーニングを導入いたしました。マイナンバー漏洩リスクにつきましては、新任のマイナンバー事務取扱者に対しまして個別に説明を行うなど、事故防止に向けた取組みを積極的に行っております。大規模改修に伴いまして、屋外コート8面のみ、9月までの営業となりましたけれども、体育施設利用料収入は当初計画を上回りまして、また支出についてもほぼ当初計画どおりの水準でございました。29年度に引続き、8面営業を行うにあたりまして、仮施設での営業等のサービス低下に伴い、利用料金の割引を継続するなど、利用率増加に向けた取組みを行っております。最後に9月末の全面休館に向けて、屋外コート8面の明渡しを着実に行いました。また、改修部門と大規模改修の調整のほか、新規施設の再開準備を進めたということになっております。</p> <p>こういったことから、評価得点を37点のA評価とさせて頂きたいと思います。説明は以上でございます。</p>

発言者	内容
小室委員長	ただいまの説明につきまして、ご質問ありましたらお願いいたします。
守泉委員	新聞報道からで申し訳ないんですけど、有明テニスの森の工事に関して、下請け業者が破綻したっていうのがありますよね。それによって工事の進捗がだいぶ遅れていて、場合によっては色んな行事に間に合わなくて、テニス関係は武蔵野の森に持っていかとか、そういうような話があったようなんですけども、現在のところその辺の影響っていうのはどうなんでしょう。
渡辺課長	工事の遅れのリカバリはしております、ちょっとまだ時期はハッキリしておりませんが、9月の開館に向けて準備しております。ですから工事の遅れの影響は今それほどないと競技団体に対しても伝えております。
守泉委員	一応は代替の業者で対応できているっていう。そのイベントが起きた時点っていうのは昨年度の時点なんで、この評価の対象の部分に入ってくるのかなって思ったんですけども、その辺は影響が、未定ではなくてあまり影響はないっていうことでよろしいですか。
渡辺課長	影響はないですね。
小室委員長	いかがでしょうか。よろしいですか。 では次へまいります。次は若洲海浜公園ヨット訓練所の一次評価です。

所管局一次評価【若洲海浜公園ヨット訓練所】

発言者	内容
渡辺課長	1枚おめくり頂まして、評価内容を申し上げます。 スポーツ振興事業のうち「障がい者体験乗船会」は、30年度は1回増の2回実施しております。それから日本セーリング連盟、日本障がい者セーリング協会、日本視覚障がい者セーリング協会との連携による運営を行った結果、事故無く安全に実施しております。利用者サービス事業でございますけれども「ヨット陸置事業」につきましては、大会誘致等により、年間利用・スポット利用ともに29年度を上回っております。また、東京2020大会に伴う江の島ヨットハーバーからのヨット受入につきましては、神奈川県と綿密な打合せを行って、積極的に協力しております。 以上のことから評価得点を39点のAとさせて頂きたいと思っております。 以上でございます。
小室委員長	ただいまの件につきまして、ご質問ございますでしょうか。

発言者	内容
守泉委員	<p>個人情報の取組みのところの評価っていうのはどこで判断したらいいんですかね。なんか内容を資料とかで見る限りは、ごく当たり前の普通のことやっていて、先ほどまでのところだと新たにeラーニングを導入したっていうのはある訳ですけども。</p>
守泉委員	<p>私は専門家として IT のセキュリティ監査なんかをやったりするんですけど、それは普通で当たり前のことで、それができてないってことは、むしろ大きな指摘事項で、規程やマニュアルを作るのは当たり前のことということで。プラスして、例えば何か外部監査を入れたとか、ペネトレーションテストを入れて侵入検査をやったとか、何かそういうことをやった場合に多くのプラスの部分っていうのをやっていて、事故がないのが当たり前で、事故があった場合にはむしろ大変なことで。私が属している内閣府のある施設のところでも、一時 USB のスティックを紛失したんですよ。で、それが今見つからなかったっていう時点で、もうセキュリティの規程上では重大なインシデントなんですよ。それで見つかったから良いんですけども、一旦見つからなかったっていう段階の時に、このまま見つからないっていうことになると、重大な指摘事項になりますよということ。</p> <p>だからまずは、1つの原因は、誰に貸与したのかっていうのが記録されてなかったんですね。だから誰にあたったらいいのか分からなかった。で、2・3日結局戻らなかったんですけども、結果的には出てきたから良かったんですけども、出てこなかったら重要なインシデント。そういう風にけっこう細かいところでそういう個人情報とか情報の漏洩って見るものなんで、規程を作ってますって言った時に、もう規程に関してもある程度、例えば東京都の水準のものを持っているのかとか、セキュリティポリシーがあって対策基準・実施基準をきちんと作っていますかとか、そういうところがあって、まず標準なんです。</p>
渡辺課長	<p>水準を上回るとまでは言えないと。</p>
守泉委員	<p>さっきのeラーニングは、当たり前なんだけど、eラーニングに取り組んでいたっていうことは全員が対象になるし、研修の状況も常に分かるからまあいいかなって思うんですけど。</p>
渡辺課長	<p>ここで評価する項目として、事務局案として考えておりましたのは、今までなかった規程、それからマニュアルを作成、まあそれがどうだったんだという話なのだと思いますけれども、</p>
守泉委員	<p>だからそれが無かったってなれば、逆にマイナスなんですね。</p>

発言者	内容
小海委員	評価基準がどこにあるかってことで、毎年もうやられてるんで。
小室委員長	そうですね。だから「新たな取組みをした」っていうことで二重丸っていうのはあるんですけど、それが通常求められるレベルのものかどうかっていうのがね、ありますよね。
小海委員	たぶん毎年問題になると思うんですけど、前年度の実績があつて、それより良いものをしないといけないみたいになると、絶対に二重丸つかなくなってきますよ。だからその評価の基準、二重丸をつける基準さえそれぞれ明らかにしておけば、まあ難しいと思うんですけど、でも情報の公開とかは守泉先生が言われたように、ここまでやったら二重丸みたいに決めてしまえば、当たり前だから丸ってするのか、いや当たり前のことやってても二重丸なのか、基準を決めてしまえば。
守泉委員	一般的なものだど、セキュリティの規程をやっているのは当たり前で丸なんですよ。だけでも外部監査を入れましたとか、毎年外部監査を入れたとしても、内部の研修でおさまっているのと外部の監査を入れているのとはだいぶ水準が違うので、それをやった場合には二重丸にするみたいな感じで、そこを分けたりしているのは事例ではあるんですね。そういう風にプラスアルファみたいなことをやってて、それを毎年やってても、でも普通よりもそれはやっているじゃないのっていうところを見るっていう。
小海委員	別のところでよろしいですか？全日本学生ヨット選手権を自主事業に入れるのかどうなのかって思ったんですけど、これって自主事業ですか？場所を貸したってイメージなんですけど。
小室委員長	土日に大会を開くっていうことで、自主事業としている所以っていうのは何かあるのか、施設提供事業ではないってこと？
溝延 課長代理	施設提供事業ではないですね。基本的には、指定管理者のほうで全日本学生ヨット選手権の主催者と連携してもらって、誘致してきたということで自主事業という位置づけでやっています。
小室委員長	ここは訓練所としての機能が本来的な施設の使い方としておりまして、施設が小さいのと、船を動かせる海域っていうのが東京港に入ってくる船の進入の妨げにならない範囲で、150ヘクタールくらいしかない海域でやっているというのが実際に、他の施設のように大会をやる前提で作った施設というよりは訓練をするための施設としてスタートしたという経緯がございます。ですから大会を行うということ自体、指定管理者が色々声かけして努力して集めてきているという実態がございます。

発言者	内容
小海委員	分かりました。
守泉委員	実際この狭いところでできたんですね。
渡辺課長	そうですね。
小室委員長	他にございますか。よろしいですか。 では次は武蔵野の森総合スポーツプラザですね。お願いします。

所管局一次評価【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

発言者	内容
渡辺課長	<p>1枚おめくり頂きまして、評価の内容でございます。</p> <p>管理状況及び事業効果についての評価は概ね水準通りでございます。6名のローテーションで体制を整えておりまして、維持管理等、業務仕様書等及び事業計画書に基づき、確実に監視を行っております。通常は昼間帯3名、夜間帯1名の体制でございますけども、大規模イベント時には昼間帯、夜間帯ともに増員体制を組みまして、利用者の要望に迅速に対応しております。毎月開催する定例会議の場で実績や利用者の声をコンソーシアム内で共有・検討しておりまして、改善を図っております。今年度は駐車場貸切利用時の障害者枠の確保やカフェのケータリングを開始しております。</p> <p>こういうことから、得点を34点、評価をAとさせて頂きたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
小室委員長	ただいまの件について、ご質問はございませんか。
守泉委員	<p>一般的な話なんですけど、他と比べて武蔵野の森の評価において、一次評価が全体として辛いのかなっていう感じ。例えば開館してから間もない中で、人も急に増えてきているし、色んなイベントもそれなりにやってそれなりの成果が最初の段階なのにけっこう出てきているっていうのもあるのに、そこのところが、例えば利用状況のところも丸のままとかになって、本来の機能からすればこのくらい当たり前だっていう風に見られているのか、どうなのかなっていうのがあるのと、この前ちょうど調布の市長さんとお話をした時に、武蔵野の森の話になったんですね。こういう新しい施設ができて、まだまだ地元以外のところでは認知度がそんなに高まってははいらしいんですよ。むしろここは大きな大会をやるところで、自分たちが普通に利用できると思っていない人たちがまだいるっていう話と、それから近隣の、自転車で来るような人が多いっていう話はされてたんで、そうじゃなくて普通に利用できるのもうちょっと広めてくださいっていうお</p>

発言者	内容
	話はしたんですけど、けっこう評判は良いことは良いんですね。ただまあ敷居は高いと思い込んでいたというところがある。
小室委員長	実は武蔵野の森につきましては、まだ開業間もなく、私ども局のほうで事業者の中に入ってフォローしてやっているという実態がございます。ただ、先生がおっしゃるように、利用状況ですとか評判はそこそこ良いというのはその通りでございますので、例えば利用状況のところを二重丸にするとか、そういう修正ならば可能かなと思っております。
溝延 課長代理	利用状況につきましても、やはり東京体育館とか東京武道館のアリーナ系のところは稼働率 90%超えて、そこまでまだ、80%前後というところで、これがもう少し上がってくれば二重丸はつけやすいのかなと。
守泉委員	元々持ってる水準のところに目標があって、そこに達していないという解釈でいるってということなんですね。
渡辺課長	今、東体が休館中でそちらのお客さんがこちらに流れて来ている、その状況でも稼働率が9割を超えてないところですね。そういうこともあるのかと思います。
守泉委員	はい。
小海委員	質問よろしいですか。 先ほども話に出たアンケートのことなんですけど、アンケートってそれぞれで作ってやっているってことですよね。そうすると答えの項目が4項目のところと5項目のところがあって、施設ごとに。それで武蔵野の森が5項目なんですけど、真ん中が「ある程度満足」なんです。だから満足しかないんですよ。次が「どちらかといえば満足」と。「不満」が1個しかなくて。この場合、こちらの評価はどこで線引きをするのかなって。例えば有明の場合は5段階で真ん中が「ふつう」で、という評価の選択肢なんですけど、先ほど9割以上満足みたいのがあるという話だったんですが、そのへんは何か統一されてるとか。
溝延 課長代理	「まあ満足」以上が90%以上ということであれば二重丸という形になっております。
小海委員	5段階だと上の2つで、4段階でも上の2つ。
溝延 課長代理	そうですね。上位2つというところが90%以上であれば。
小海委員	それが基準だということで。分かりました。

発言者	内容
守泉委員	<p>本来はアンケート設計の時に標準化をしないと。政府のアンケートでも時々こういうことやるんですけど、誘導するような書き方になっていたりとか、あと質問事項も、例えば左側を全部丸をしないと良いような感じの設計のやつをしないと、ろくに見ないで丸をつけちゃう。さっき話したセキュリティなんかもそうなんですけど、セキュリティの時にめんどくさいからみんなこっち側つけるとけっこう大変なことになるように、僕なんかは設計する時に左と右を入れかえたりして、よく読まないこととんでもないことを書くような感じに、罨にはめたりとかするんですよ。そういう設計っていうのは、本来はきちっとあって、それでその上に立って評価ってあるので。</p>
小室委員長	<p>利用者満足度をこういう形で評価する以上、各施設で少し統一したアンケートの取り方が。</p>
小海委員	<p>公平性が保たれるような、そういう風にすべきというところですが。</p>
小室委員長	<p>近々、施設関係者を集める会議がございますので、そこでもアンケートの様式の統一化、質問項目の統一化に向けて話し合いたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。大丈夫ですか。</p> <p>では、続きまして東京都障害者総合スポーツセンターの一次評価の結果です。</p>

所管局一次評価【東京都障害者総合スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	<p>1枚おめくり頂きまして、評価の内容でございます。</p> <p>管理状況及び事業効果については概ね水準通りでございます。障がい者スポーツ指導員及び健康運動指導士、介護予防運動指導員等の有資格者を配置しております。またセンター運営に必要な資格取得に際して東京都障害者スポーツ協会の職員資格取得助成制度も活用しております。30年度からは日常的な個人利用者の利便性の向上を図りますよう、主に初心者・初級者を対象に障害の種類や状況に配慮するために利用者によるサポート、それから障がい者スポーツ指導員等によるアシストサービス、並びにアスリート支援として、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー等が専門的なトレーニング方法を助言する「障がい者スポーツトレーナーによるサポート」等を、新たな事業として取組んでおります。</p> <p>以上のことから、得点を34点、評価をAとさせて頂きたいと思っております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>

発言者	内容
小室委員長	はい、いかがでしょうか。質問がありましたらお願いします。
小海委員	ここの改修は終わったんでしたっけ。改修工事。
渡辺課長	全面改修は7月28日に終わりました、そこでリニューアルオープンという予定になっております。 ただ、施設はもう今動いていますので。
小室委員長	昨年、新しい屋内施設は7月の頭からオープンしております、だから9か月は屋内施設はオープンしています。トラックとかテニスコートとか、屋外施設がまだクローズの状態ですが、それも今年の7月28日に屋外施設も含めて全面的にオープンします。 こちらの評価っていうのは屋内施設の9か月、仮設はもう一昨年の年度末にクローズしていたので、屋内施設の9か月分ということで。
渡辺課長	そうですね。屋外だけ使えないと。
小室委員長	屋内施設だけで。はい。 他は大丈夫ですか？
守泉委員	結論としては、結構休館してる分があるのに標準的にこういうふうになるのかなと思うんですけど、この評価とは関係なしに、休館してる時の職員の方って何をしてたんですかね、そういう時って。使えないとなると、結構人員が、仕事之余ったりという話は。
溝延 課長代理	工事の調整についてはプラスの業務量となっております。
守泉委員	でも人の介護をやってる人が工事の調整とか工事関係のところって話るのは、全然能力が違うと思うし、だから忙しい人とそうじゃない人が結構分かれると思うんで、空いてる人っていうのはどんな状況だったんでしょう。例えば研修を中心に何かやるとか、外の研修によく行ったとか、なんかそのへんのところっていうのはどういう感じなのかと。
小室委員長	ここは確か、クローズになっている期間でも仮設棟というのを建設して、仮設棟を動かしていたっていう実態はあります、サービス系の職員につきましては。
守泉委員	3月1日から5月31日までですね。
小室委員長	それで仮設棟がクローズしてからは、実務的なんですけど引っ越しのための色々な作業をしていたっていう。 あとは外に出かけていくサービスを。
渡辺課長	そうですね、正確には確認しないと分からないところもありますけども、常勤

発言者	内容
	と非常勤があつて。非常勤の割合も割と多いんで、そこは柔軟にシフトを組んで対応してたりとかですね。おそらくそういうような対応をしてたんだらうと推察はされます。
小室委員長	それは後でヒアリングの時に質問をして再確認するようにしましょう。他にございますでしょうか。
小海委員	今のお話の、外についてというのが地域振興事業に書かれている、他の場所でやっているみたいなもの。それがそういうイメージですか。
小室委員長	それは兼ねてからここの障害者スポーツセンターの取組むべき課題ということで。じゃあそれも確認いたします。アウトリーチ活動の実態ですね。
守泉委員	ちょっと付け加えますと、アウトリーチの中で「おちゃのこ祭祭」って社福がやってる固有の業務の部分なので、それってここの評価の対象とするべきものなのかなってところがちょっと分からなかったですね。これは確かに「え、こんなに来たの？」って言ったとしても、これの事業というよりも社福が区とかと一緒に組んでやってる部分なんで、そうするとそれ以外のところで見べきなのか、これは一部を見るべきなのか。この 8,500 をそのままは受け取れないんだらうなど。
小室委員長	なるほど、分かりました。じゃあ、それも確認するようにいたします。 「おちゃのこ祭祭」って、お祭りですか？「祭」の字が使われているけど。
守泉委員	けっこう実際に盛況で、人が集まってそれなりにうまく、皆さん障がい者の方々が来てバザーみたいなこともやっています。
小室委員長	「おちゃのこ祭祭」がものすごい数で増えているので、ちょっとここは事情を聞いたほうがいいですね。具体的にどういうことをやっているのかという。
小海委員	今のところで表の示し方で、実施状況の数字が上のほうに入ってるんですけど、30 年度はその 8500 があるので、ぱっと見るとこれで 9000 くらいになるのかなと、でも 29 年度のは、まあ「主な」ということで他のものが全然入ってない。全部は出せないと思いますけど。
小室委員長	そうですね。ありがとうございます。
小海委員	見てないですけど他のもそうなんですかね。「主な」で出して。
渡辺課長	そうですね。抽出してメインのものを出しております。
小室委員長	ここら辺はやっぱりある程度大半をカバーするような事業で何人って書いてもらわないと。こちらちょっと今後改善するようにしたいと思います。 よろしいでしょうか。 では続きまして東京都多摩障害者スポーツセンターをお願いします。

所管局一次評価【東京都多摩障害者スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	<p>はい、1枚おめくりください。</p> <p>多摩障害者スポーツセンターの評価内容でございますけれども、プール利用を希望する利用者のニーズに応えるため、武蔵野の森総合スポーツプラザに職員を派遣いたしまして利用促進を図るなど、効果的な取組みを行っております。また、競技アスリート向けの利用促進のための取組みを効果的に行いまして、利用者層の拡大に努めております。さらに改修工事に伴う利用者動線の変更、それから開館日の変更につきまして、都や株式会社東京スタジアムと密に連携し、適切に対応しております。</p> <p>以上のことから、評価点を36点のA評価とさせて頂きたいと思っております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>はい、ありがとうございます。これにつきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>私からお聞きしていいですか？</p> <p>多摩障害者スポーツセンターの場合、「事業の取組」(3)のサービス向上と、(9)のその他に二重丸がついてるんですけど、これはなぜ二重丸にしたか、もう一回教えて頂けますか。何かサービス向上に向けた取組みで特筆するものがたぶんあるんだろうなと思うんですけど、それは何かというのを。</p>
溝延 課長代理	<p>サービス向上の取組みについては、競技アスリート向けの利用促進のための効果的な取組みを評価しております。</p>
小室委員長	<p>それって何なんだろう。ちょっと聞いてみないと分からないですかね。</p>
溝延 課長代理	<p>(9)のその他については改修工事への適切な対応ということで、改修工事に伴って利用者動線が変更になったり、開館日に変更があったんですけども、東京スタジアムと密に連携して柔軟な対応をして頂いたということで、評価を高くしております。</p>
小室委員長	<p>分かりました。これはヒアリングで、競技アスリートの話は確認します。</p>
渡辺課長	<p>そうですね。あと多摩障で元々プールがあったのが、今回調布庁舎で運営していてそこにはプールがなかったということで、今までプール利用されていた方がプールを使えないのかっていう要望が大きかったんですね。その際に武蔵野の森のプールで水泳ができますよとご案内をして、職員をそこにも派遣して、利用者</p>

発言者	内容
	のサービス向上に努めたというところの取組みが評価できるかなと考えております。
小室委員長	それがサービス向上で拾えるんじゃないかと。
溝延 課長代理	あと実地調査の際には、四半期ごとに集約した内容を、苦情調整委員会っていうのを年に何回か開いてまして、その中で有識者の助言を求め、サービス向上に努めてますよというところで二重丸をつけさせて頂いております。
小室委員長	分かりました。 ここは利用者への苦情対応とか要望対応については積極的に取り組んでいるところで、スーパーマーケットによく貼ってある「お客様の声カード」みたいなもので、障害者の施設ですから、様々な、本当に自分の障害にフィットするような形でのバラエティに富んだ要望が寄せられるんですけど、対応できるもの・できないものなどをきめ細かく、一人ひとりのお客様にカードへの回答っていうことで掲示するなどの努力しております。
渡辺課長	館のスタッフが利用者の皆さんのお名前とかを覚えてらっしゃって、普段からよくコミュニケーションが取れていますので、かなりきめ細かな対応がとれているかと考えております。
小室委員長	はい、ありがとうございます。

所管局一次評価【全体を通しての質疑】

発言者	内容
小室委員長	では今のご説明で一通り一次評価の結果報告をしたところでございます。 予定によりますと、ここから 10 分程度休憩して、10 時 33 分から議事スタートということになりますけれど。 はい、丸山先生。
丸山委員	全体的なことなんですが、利用者の立場から、こういうことがありました。 いつも東京体育館をお借りして大会を開催しているのですが、現在は補修のため使用できないので、「東京体育館が使えないから、武蔵野の森総合スポーツプラザをお借りしましょう。」と提案したら、「あそこは使用料が高いから駄目だよ。」と言われました。 結局、千葉県のアリーナを借りたり、埼玉県のアリーナをお借りして大会を開催するようにしています。 そこで、施設使用料の設定について教えていただきたいと思います。

発言者	内容
小室委員長	<p>では私のほうから申し上げます。</p> <p>新規の施設につきましては、最初に料金設定をする根拠として、施設運営のための人件費・維持管理費・減価償却費の3つを根拠にして料金を作っております。それで、先生がおっしゃったような、東体に比べて武蔵野の森が高いというご指摘は、やはり競技団体の方からも頂いてご説明しているところでもあるんですが、1つ東体と武蔵野の森が大きく違うところは、面積が、武蔵野の森は充実しております、メインアリーナで比較しますと競技面が1.5倍くらい大きくなっております。そのことも反映して、料金が高めにはなっているところなんですが、ただその中でもスポーツ利用と興行利用で、そこは大きく差をつけていて、興行利用でできるだけ高く頂き、競技利用は広い面積の中でもできるだけ抑えめの料金設定とし、また、土日と平日で、平日のほうを安くしております。やはり平日のほうが比較的空いていて、そちらのほうをよりご利用頂きたいというような工夫をしているところをございまして、同じ時間帯で比較しますと、確かに高いです。</p> <p>竣工年度も違いますので。新しい・古いということで。</p>
渡辺課長	一応、類似施設と比べながら値段のほうは設定させて頂いております。
丸山委員	<p>千葉県船橋アリーナまで行くと、交通費を考えたら、個人的には武蔵野の方が絶対に良いと思いますが、でも、大会役員の皆さんは、船橋アリーナを借りた方が良いとか、さいたま市桜区のアリーナが格安で借りられるからと言うのです。</p> <p>そこで、東京体育館の代替に、他県のアリーナをお借りして大会を開催しているのが現状です。その1番の理由が、武蔵野は使用料が高いということでした。そうですか、分かりました。</p>
小室委員長	はい、よろしく申し上げます。
守泉委員	料金の設定の部分は、やはり利用者の側から見た時に一定以上まで高いと、もう選択の対象じゃなくなっちゃうラインっていうのがありますよね。
丸山委員	そうですね。
守泉委員	だからもしかしたら武蔵野の森の稼働率の低いのは、そのラインを越えちゃっているのかもしれないので。
丸山委員	それともう一つあります。さっきの話に出ましたが、武蔵野の森総合スポーツプラザは、東京体育館と同様に、国際大会や全国大会の専用の会場だと、皆が考えているようなのです。

発言者	内容
小室委員長	平日は本当に安くご利用できるような料金設定にしているところなので、そこも宣伝などはもっと充実させてもいいのかもしれないです。
丸山委員	そうですね。一般でも使えるっていうのはほとんど多摩地区に住んでいても皆さんそう思っていないですね。
小室委員長	はい、ありがとうございます。 では、ここから 10 時 33 分のスタートまで若干の休憩を挟みまして、トップバッターは障害者総合スポーツセンターですかね。では暫時休憩といたします。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都障害者総合スポーツセンター】

指定管理者：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
小室委員長	ではお時間となりましたので、議事を再開したいと思います。 これより、障害者スポーツセンター 2 施設と武蔵野の森総合スポーツプラザにつきまして、指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議を行いたいと思います。
溝延 課長代理	それでは指定管理者評価委員会の各指定管理者によるプレゼンテーションになります。 プレゼン頂くお時間につきましては 10 分間ということで、スケジュールがごございますので時間厳守でお願いいたします。10 分間プレゼン頂いた後に質疑の時間を 5 分ほど取っておりますので、よろしくお願いたします。 プレゼンにつきましては残り 3 分位になったところで事務局のほうから案内をお見せします。また、10 分経ちましたらベルを鳴らさせていただきますので、お時間の管理をよろしくお願いたします。 それではプレゼンテーションをよろしくお願いたします。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	平成 30 年度の管理運営状況につきましてご説明いたします。 施設運営の基本姿勢とその具体化、サービス提供の考え方ですが、第三期指定管理期間の三年目にあたりまして、指定申請書の記載事項などを踏まえまして、計画的な事業執行を図るとともに、当協会が作成いたしました「東京における障害者スポーツ振興ビジョン」の実現に向け、障害者スポーツ施設としての機能の充実と効果的な運営、利用者支援サービスの向上及び地域での障害者スポーツの活性化の推進などに努めてまいりました。特に地域振興事業につきましては、協

発言者	内容
	<p>会や関係機関と連携し、障害者スポーツ振興の計画的かつ着実な事業展開に取り組んでまいりました。また、2020 東京パラリンピックに向けまして、競技スポーツの振興とアスリートの競技力向上の支援に積極的に努めてまいりました。</p> <p>続きまして、職員の資質向上につきましては、全ての職員が質の高いサービスの提供をすることを目的といたしまして、職員研修実施要綱に基づき各種研修を実施いたしました。また、人材開発の観点から独自の助成制度により職員の資格取得を支援してまいりました。30 年度の主な実績につきましては記載している通りでございます。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>続きまして、安全対策・環境配慮等の実施ですが、一部改修工事中ではありますが、施設が新しくなりまして、オープンに向けて利用者が安全・快適に利用できるように職員研修を実施してまいりました。また、東日本大震災を踏まえまして、防災訓練として近隣の都立施設と「災害活動相互応援協定」を結び、合同訓練を実施いたしました。さらに普通救命講習会を、センター職員の他、運営に携わるスタッフ全員の参加で、今年は開催しておりまして、結果としまして今年度も普通救命講習受講優良認定を受けてございます。また、スポーツスタッフは水上安全に係る研修、プールでございますが、毎月 1 回以上実施し、水難事故の防止に努めております。また、今回改修工事に伴いまして LED 照明化により節電を、それから点字ブロックの敷設工事の際に、床や壁面とのコントラストを調整いたしまして、視覚障害者の、主に弱視の方でございますが、視認性に配慮した施工としてございます。</p> <p>続きまして利用者支援のさらなる充実でございますが、利用者の状況について、平成 30 年度は改修工事により 4 月・5 月が仮設施設の運営、6 月の 1 か月間の休館を挟みまして 7 月より屋内施設がオープンいたしました。また、多目的室・研修室が新設されてございます。それによりまして平成 30 年度は年間で延べ約 138,000 人の利用がございました。前年度との比率では、前年が仮設ですので直接の比較にはなりません、約 68.9%の増加となっております。また、個人利用と団体利用の比率ですが、個人が 67.0%、団体が 33.0%という比率となっております。平成 30 年度の新たな利用団体は 17 団体ございまして、新設された多目的室などで活動する団体も多い状況となっております。また、新設の多目的室で団体利用が可能な時間帯には、本館の体育館は団体利用を半面のみとするなどして、個人利用がしやすいように工夫してございます。</p> <p>次に利用者ニーズの把握と対応でございますが、より多くのサービスの実現を</p>

発言者	内容
	<p>目指しましてアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握するとともに、サービスの質の向上を図っております。有効回答数 466 名で、総合評価では 95.9% の方から十分・ほぼ十分というご回答を頂いております。また、多摩スポーツセンターと合同の「苦情調整委員会」を開催いたしまして、利用者からの苦情や要望等への対応を協議し、運営の改善に努めるなど取り組みました。さらに館内に投書箱を設置いたしまして、利用者様からの要望・意見を把握するとともに、館内掲示板によりご回答を申し上げます。</p> <p>以上、30 年度の管理運営状況のご説明でございます。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では先生方からご質問のほうお願いいたします。</p> <p>私からちょっとお聞きしてよろしいですか？</p> <p>地域振興事業について伺いたいんですけど、平成 30 年度の事業数が 15 で参加者数 9,170 とありまして、アウトリーチ事業で「おちゃのこ祭祭」が 8,500 人という風に出ているんですけども、ちなみにこの「おちゃのこ祭祭」というのはどういう事業ですか？</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>これはですね、北区の社会福祉協議会の主催事業で、北区内の施設、福祉施設とか団体さんが参加して、実行委員会ができて行っている、いわゆるお祭りです。それで、私どもはこの事業に対しアウトリーチ事業として、うちの職員と都センターの利用団体、利用者の方が一緒に、当日お伺いしてボッチャ体験を行いました。ご覧の通り地域振興事業ですので、もちろん私どもセンターの利用者の人数にはカウントしておりません。</p>
小室委員長	<p>これは参加者数ということですか。8,500 人というのは利用者数には入っていない？</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>はい。入っていないです。</p>
小室委員長	<p>入っていないで記載しているということですか？</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>はい。これは回遊型の体験会ございまして、私どものブースの他に色んな施設が展示物を出したり物販したりする催しです。</p>

発言者	内容
小室委員長	はい。ちなみに29年度のお話をお聞きするようで恐縮なんですけれど、29年度は3,599人ということで、表を見ますと、「SPORTS FESTA スマイリーサンレクリエーション大会」とアウトリーチ事業でイムス板橋リハビリテーション病院の150と30しかなくて、大半が3,599の何なのかなってというのが不明なので、もしお教え頂けたらと思うんですけども。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	29年度はですね、もしかしたら東京都医学療法士協会の学術大会に私が出向いて理解啓発をしてきたので、その参加者が入っているのだと思います。
小室委員長	なるほど、そうですね。医学療法士の学術大会が1,350人、東京2020大会1000日前カウントダウンイベントで1,100人。それらが特殊事情で入っていたということですか。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	オリパラの事業では、北区の事業でですね、パネル展示とか体験会、また、アスリートの紹介をいたしまして、私たち職員が出向いてやらせて頂いております。
小室委員長	はい、分かりました。ありがとうございます。先生方よろしいでしょうか？
守泉委員	東京都障害者スポーツ協会の中でも、障害者の雇用率っていうのは何%か教えて頂けますか？
東京都障害者総合スポーツセンター職員	はっきり覚えていないのですが、今3.2%くらいです。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	これは決して高い数字ではないと思うのですが、私どもスポーツスタッフ、現場スタッフの職員の中に、いわゆる欠損の職員もいまして、その職員がいることによって、障害のある人が気軽にスポーツ活動に入っていけるということになっていると思っています。
守泉委員	障害者の雇用率の法定基準というのは？
東京都障害者総合スポーツセンター職員	法定基準では、クリアしております。

発言者	内容
守泉委員	あとですね、本来であれば段々、例えば諸外国のように、障害者スポーツが充実してくると、障害者のスポーツを支援する人が自ら障害者で、アスリートの経験があった人が、自分の経験も踏まえて指導するっていう形になってくるんですけど、そういうような方は今いらっしゃるんですか？
東京都障害者総合スポーツセンター職員	私どもセンターの利用者の方が、JPSA、日本障がい者スポーツ協会の障がい者スポーツ指導の資格を取って、日常的に、例えばプールで利用者の方がプールに入って、お客さん同士でピアサポートしている場面があって、その事業がですね、実は昨年度から、アシストサービスということで事業化して、いわゆるトップアスリートの支援ではないですけども、大切なものですので、そこから障害のある方も一緒に取組んでおります。
守泉委員	ありがとうございます。
小室委員長	もし質問がないようでしたら、障害者総合スポーツセンターはこれで終了とさせていただきます。 どうもありがとうございました。

・二次評価の審議【東京都障害者総合スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	では私のほうから二次評価についてご説明させて頂きたいと思います。 資料の6をご覧ください。 資料6の上に施設名がございまして、今プレゼンをして頂きました障害者総合スポーツセンターでございます。 こちら委員の皆様にご審議して頂きたいところでございまして、私のほうから概要をご説明させていただきます。 評価の観点でございますけれども、障害者施設として必要なシステムとスタッフが準備され、それが必要な機能を果たしている。それから、利用者アンケートの実施結果もおおむね良好である。また、障がい者スポーツ施設であるが、健常者を含めての地域のスポーツセンター機能を果たしている。 ということで、評価をAとさせて頂いております。
小室委員	障害者総合スポーツセンターって自主事業の実施状況は今回評価対象じゃなかったんですね。休館だったからですか？
溝延 課長代理	元々、障スポセンター自体は自主事業がありません。

発言者	内容
小室委員	さっきのはスポーツ振興事業だけの話だった？
溝延 課長代理	そうですねスポーツ振興事業と地域振興事業です。
小室委員	さっきの話は（１）で取ればいいということですね。 いかがでしょう。事務局案はAですが。 よろしいですか。では事務局案でAということにさせていただきます。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都多摩障害者スポーツセンター】

指定管理者：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
小室委員長	では、東京都多摩障害者スポーツセンターです。
東京都多摩 障害者スポ ーツセンタ ー職員	<p>私、サービス整備課長のほうで前半の、施設運営の基本姿勢から利用者ニーズの把握と対応までやらせて頂きます。その後は支援課長のほうでご説明いたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>多摩障害者スポーツセンターですが、ご存知の通り平成 30 年度は調布のほうに移転をいたしました。年度いっぱい向こうで過ごしております。4月に引越しをしまして、国立のほうは改修工事ということになります。つい先月なのですが、6月に再び国立のほうに戻ってきまして、そして6月 30 日に開所式を行いました。現在、国立のほうで再オープンをしたところでございます。</p> <p>それでは内容のほうを説明いたします。</p> <p>最初の施設運営の基本姿勢なのですが、サービス提供の考え方、これは基本的には第三期の指定管理に現在入っておりますので、その第3年度にあたりまして、申請書の記載事項を踏まえまして、効率的な運営を行っているところでございます。また、利用者のライフステージ・ライフスタイルに適合したサービスの充実に努めてきております。それから広域スポーツセンターとして、協会のほうと一体になりまして、地域での障害者スポーツの振興ということを進めております。</p> <p>それから「東京都障害者スポーツ振興計画」を踏まえまして、29年度に私どものほうでも「東京都における障害者スポーツ振興ビジョン」を作成しまして、この実現に向けまして現在、引き続き計画的に取り組んでいるところでございます。また、先程述べましたように平成 30 年度は調布庁舎、仮庁舎での運営となりましたので、一番大変だったのが、最寄り駅などからバスを整備して、障害者の方</p>

発言者	内容
	<p>をセンターに迎えるというアクセスの問題でした。かつてあった国立のほうのセンターからずっと延長しました味の素スタジアムまでのバスコースをひとつ。それから一番近い京王線の飛田給駅からシャトルバスを作りました。これでなんとか凌いだ次第でございます。また、ちょうどスタジアムのほうで大きな改修工事がありましたので、そういった意味でも、工事そのものとの調整にだいぶ苦労したんですが、これも我々の努力あるいは色々な工夫で、なんとか乗り越えた次第でございます。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>それから職員の資質向上ですけれども、利用者への質の高いサービスとニーズに沿ったものを行うということで、職員研修の実施要項に基づいて全体研修を行っております。例としては「多様性について考える」あるいは「情報セキュリティについて」、それから「31年度の事業計画についてのディスカッション」などを行った次第です。それから課題別研修も行ってございまして、毎年やっております「全国障害者スポーツ大会について」といったものを行いました。さらに細かい個別研修では「excel 中級研修」や「給与・社会保険研修」、こういったことについても、これは特に事務方ですけれども、行った次第でございます。それから職員の能力開発あるいは意欲向上を図ろうということで、資格取得を奨励しております。初級障がい者スポーツ指導員を昨年は3名合格させました。その他、中級・上級の障がい者スポーツ指導員、あるいはボランティア・コーディネーター、トレーニング指導士養成講習会、あるいは公認スポーツプログラマー、色んな資格があるわけですけれども、こういったものを各1名が受講し、取得した次第でございます。</p> <p>それから安全対策、とても大切なことですが、これは、この1年が東京スタジアムの中でやったという事情もありまして、我々のほうで自主的に計画していくということがなかなかできなかったのですが、それでも東京スタジアム、それから近隣に武蔵野の森総合スポーツプラザができましたので、これと合同で「合同自衛消防訓練」を2回ほど実施しております。5月と11月にそれぞれ参加しまして、参加人数は50名・120名とありますが、これは東京スタジアムあるいは武蔵野の森総合スポーツプラザを含めており、すべて私どものほうということではございません。また、施設内では職員の避難訓練・避難経路の確認ということで、職場の労働安全衛生委員会と連携して季節ごとに行いました。特に私どもは、慣れていない施設ということがありましたので、これは非常に徹底して行いました。地下施設も半分抱えておりましたので、出口がどこだか分からないって</p>

発言者	内容
	うことがあるんですね。それで、利用者とともに訓練を徹底するようにいたしました。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>次に、環境にやさしい施設運営ということなんですが、毎年やっていることですけれども、衛生的な環境を確保するというので、空気環境測定を実施しております。特に地下の部分がございましたので、重要な意味を持ったと思います。それから、味の素スタジアムの施設だったため、私どもは直接機械などを操作して環境に対して何か節減をするっていうことがなかなかできなかったもので、従来型の節電に努めました。窓際やあるいは不要なスペースについて、照明を切るということ、あるいは冷暖房について必要な部分以外はつけないということで節電に努めました。けっこう施設が広くて大きかったものですから、それが無駄な冷暖房費に繋がりますので、そういったことに努めさせて頂きました。</p> <p>それから利用者支援の充実という項目に移りまして、まず利用者の状況ですが、平成 30 年度の利用者総数は 74,062 人です。これは前年と比べて残念ながら 6 割くらい落ちて 88,334 人減少しました。減少の原因は、やはり調布の仮施設に行ったということで、プール施設等がないとか、あるいは水泳記録会についても協力を得てやったということがありました。外でやる会については職員を派遣して、利用促進に努めた次第です。</p> <p>それから利用者ニーズの把握と対応ですが、毎年アンケート調査を実施してまして、このアンケートの結果として 94.6%の方に十分・ほぼ十分という回答を頂いた次第です。その他、苦情調整委員会というのを設置しておりまして、それぞれの苦情やご意見について常に改善に努めた次第でございます。</p>
障害者スポーツセンター職員	<p>それでは健康スポーツ相談のほうへまいります。医師・理学療法士・管理栄養士が、専門的立場から健康管理や運動内容等について 93 名の相談希望者にアドバイスをを行い、安心してスポーツ等に取り組んで頂きました。当センターのスタッフが、個々の障害種別や程度に応じた運動指導や運動プログラムの作成を行い、安全で効果的なスポーツ活動への取組み支援を利用者に対して行いました。</p> <p>多彩な事業展開としては、ジュニアから高齢の障害者に至るまで、ライフステージ・ライフスタイルに合わせたスポーツ教室やレクリエーションプログラム、大会やイベント、講習会など多彩なプログラムを 48 事業用意して取組みました。特にジュニア世代がスポーツに取り組む機会と場所の提供を行い、今後スポーツに取り組むべききっかけ作りを目的にジュニア対象教室を充実しました。アスリート支援教室では「水泳選手育成教室」を実施し、東京 2020 パラリンピック競技大</p>

発言者	内容
	会に向けて選手強化を図りました。
障害者スポーツセンター職員	<p>また、高齢障害者に対しては、日常生活動作の向上を図るため、介護予防教室を実施し、211名の参加者がありました。また、調布庁舎において、アスリートの練習場所の確保をすることができました。継続利用者は36名で9種目の選手が利用しました。開館日が284日で、利用回数は延べ330回になります。</p> <p>スポーツ振興事業では、障害のある人が、地域の身近な場所でスポーツに取り組むことができることを推進するために、協会の開拓推進事業等と一体的に行い、主に多摩地区の市町村や社会福祉協議会などの団体と協働して行いました。</p> <p><終了の合図></p> <p>途中ですけれども、以上です。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では先生方からご質問お願いいたします。</p>
守泉委員	<p>まず1点ですが、ラジオ体操の部分が昨年度と今年度を比べて、参加者の人数が大幅に減っているというのは、場所の移転というのが影響しているのかっていうことが1点。</p> <p>2点目として、場所を調布の仮施設でやったことによって、利用者自身の内訳というか、ある程度違う場所に移ってきてるんで、同じ層の人がそのまま使われているのか、全然違う方が使われるような形になったのかというところが、2点目。</p> <p>3点目としましては、こういうような振興事業をやっている中で、感覚的で結構なんですけど、障害者のスポーツ選手として今後こういうような方は有望だかっていうような方が出てきているのかっていうところをお願いいたします。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>まず一つ目のラジオ体操ですが、プールがなくなりました関係で、体育館とプールで同時の時間でやっておりましたので、プールのない分だけ減ってしまったということになります。</p> <p>利用者の層につきましては、先程は最後まで読めなかったのですが、調布市と大きな連携ができて、調布市の障害者の団体とか、近隣の三鷹市ですとか、国立に来ていない障害者の方々が多く利用して頂けるようになりました。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>補足ですけれども、利用者層としては、プールがなかったということで、元々プールの利用は知的障害者の方が多かったんですね、なので調布に移ってからは知的障害者の方の利用率は下がっております。</p>

発言者	内容
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	有望な選手については、若い世代から利用して頂いておまして、実際にアスリートのためのトレーニングについてもかなり選手が来ておりますので、有望な選手はいると思います。
丸山委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ずっと施設が使えなかったこともあると思いますので、さかのぼってでも結構ですので、お伺いします。</p> <p>多摩地区に一箇所なので、個人利用の場合、どの辺りから利用者が来られているのか、周りの市町村だけなのか、遠く西多摩の方からも来られているのか、おおよそで結構ですので、お願いします。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	施設の所在が国立ですけれども、その隣接した市が5市、国分寺、立川、日野、小平、府中です。それで、国立市で大体3割、周辺の5市で5割くらいですかね。大雑把で申し訳ございませんが、そのような状況ですので、やはり我々スポーツセンターとしては広域スポーツセンターということでやっておりますんで、こちらに通えない方については地域支援ということで、施設の中での支援と地域の支援と両輪で運営をしているというところでございます。
丸山委員	ありがとうございます。
小室委員長	先程少し触れられていた、競技アスリート向けの利用促進に向けた取組みの具体的な内容についてお聞かせ願いたいのが1点と、もう一つ、代替施設は工事中の施設より、プールに代表されるように、大幅に事業内容が縮小して実施していたという認識があるんですけれども、サービス部門のスタッフが工事期間中に、従来の数の人達が同じように仕事をするっていうのが考えにくくて、何か他の仕事をなさっていたのかどうなのかと。例えばアウトリーチを充実させていたとか、工事期間中のサービススタッフのお仕事内容について教えて頂ければと思います。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	はい。1点目の競技者への取組みですけれども、昨年度につきましてはなるべく個人の選手が練習しやすい環境をついていうところを踏まえまして、一箇所そういう施設が取れましたんでそちらをアスリート向けというか、競技をやっている選手の皆さんを中心に開放をいたしまして、そこで練習をさせて頂きました。内容的には陸上競技のローラーであったりとか、バスケットの仮設のゴールとかを作ってシュート練習をさせて頂いたりとかっていう風な形で行っておりました。

発言者	内容
	<p>今後に向けてもなるべくそういう機会とか場所を提供していきたいなと思っているんですけども、国立に戻ってから、施設の部分もありますので、そこはこちらで色々考えながら進めていきたいと思っております。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>工事期間中の仕事内容につきましては、まずサービス部門というか特に事務系のスタッフだと思うのですが、3つほど膨らんだ部分がありました。1つは案内の部分で、入口がスタジアムの正面ではなくてまるっきり裏側でしたんで非常に分かりにくくて、簡単にたどり着けないんですね。従いましてその周知の指示だとか、また我々も立つとか、大きな大会の時には駅まで行ってご案内するとか、色んなことをやらざるを得なかったという感じでした。これは半年くらい経っても結構尾を引いて案内に努めるところがございました。それからもう一つが、国立のほうの工事の打合せが毎週入っております、改修工事ですので、我々のように既にいた人間でないと分からない部分がたくさんありまして、その度に三人くらいのスタッフが行って工事の打合せをして、きめ細かい配慮ができるかっていう相談に乗ったりしておりました。それからもう一つは、味の素スタジアムそのものの行事との調整が大変難しかったんですね。大きな行事があちらはあちらで入ってきますので、私どもは特に土曜日曜は欲しいところですが、向こうも土曜日曜の行事がたくさんあるんですね。例えば8月くらいですと大きなコンサートが一週間続けて入ったりしまして、味スタから見ればその間うちのほうを閉じて欲しいという要請があって、うちはなるべく空けて利用者に供したい。その非常に調整、特にアクセスについては綿密なアクセスルートをその度に変えて案内を作り、また我々も人を立てて案内する。そんなことがありましたんで、結構施設そのものは縮小してますけども、私の感覚としては忙しい一年間だったと、そう思っております。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>支援課のスタッフの者なんですけれども、毎週1回、利用促進ということで武蔵野の森総合スポーツプラザのプールのほうに、週1回午前中だけですが行って、障害がある方が来た時の対応をしたりだとかいうことも行っておりました。もう一つ、国立の総合体育館のほうを月に1回か2回お借りして介護予防運動教室を行いまして、国立市民の方でなかなか来られない方に対して対応という形で行っておりました。あと、地域でも少し仕事のほうを行っておりました。</p> <p>あとは事業のほうですが、水泳教室等の事業は武蔵野の森総合スポーツプラザのプールを借用させて頂きまして、そこで実施をいたしました。あと水泳記録会も同じく武蔵野の森のほうで実施をしていましたんで、結構忙しい日々を過ごし</p>

発言者	内容
	<p>ていたと思います。</p>
<p>守泉委員</p>	<p>今のことで、だからかなと思ったんですけど、武蔵野の森を使ったりとかそういうことで、場所の移転っていうことが逆に色々な面でコストが嵩んできたのかなって思うんですけども、実際に財務状況を見ると当期のところでは一般財産の増減額が赤になっているっていうのは、やはりそういうのが影響があるっていうことで解釈をしてよろしいということですかね。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>はい。一番大きかったのはおそらくバスの運用ですね。普段1台だったものが3台、しかもかなり長距離の運用にする。その他、駐車場は警備員の管理をしなきゃいけないですとかですね。それから向こうに行っても思いもかけない様なものが、やはり工事が進むにつれて生じてきまして、先程言いましたように、味の素スタジアムの行事の時には道々に新たに警備員を雇い込んで立てなきゃいけないとか、そんなこともございましたので、全体的にちょっと意外と予算がかかったという思いがあります。</p>
<p>守泉委員</p>	<p>ちなみに、ご存知かもしれないんですけど、多摩のほうだと都立の秋留台公園っていうのがあって、そこっていうのが公園としては障害者のスポーツで名前を売ろうということをメインにやっている公園なんですね。多摩のほうとの連携だとすると、そういうところも含めて、あそこは確か公園協会がやっているかと思うんですけども、公園協会もそういう所で力を入れたいということを考えていらっしゃるんで、できればそういった所とも連携して、こういうことができる形をやって頂けるとさらに盛況なスポーツ活動ができるのかと思いますので、ご検討頂ければと思います。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>大変良い情報を頂きましたので、早速取組んでいきたいと思います。 ありがとうございます。</p>
<p>小室委員長</p>	<p>では、そろそろお時間もございますので、以上を持ちまして東京都多摩障害者スポーツセンターを終わらせて頂きたいと思います。 どうもありがとうございました。</p>

二次評価の審議【東京都多摩障害者スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは二次評価案のご説明をさせていただきます。</p> <p>資料6の2枚目をご覧ください。多摩障害者スポーツセンターでございます。</p> <p>評価の観点といたしましては、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っていること。また、味の素スタジアムとの協定により、機械・設備機器等の不具合への対応や、危機管理対応を共有していること。また、スポーツ教室の開催などにより、障がい者スポーツの普及に努めていることなどがございます。</p> <p>以上のことなどから、A評価とさせていただきます。</p>
小室委員	先生方、いかがでしょう。よろしいでしょうか。
丸山委員	A評価で大丈夫です。
小室委員	他の先生方は。
小海委員 守泉委員	大丈夫です。
小室委員	では事務局原案通り A 評価ということにさせていただきます。

指定管理者によるプレゼン、質疑【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

指定管理者：東京スタジアムグループ

発言者	内容
小室委員長	続きまして武蔵野の森総合スポーツプラザでございます。
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	<p>武蔵野の森総合スポーツプラザ館長でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>プレゼンテーション資料、平成 30 年度の管理運営状況の、上から説明させていただきます。</p> <p>まず適正な管理の履行の、施設の提供についてでございます。平成 30 年度は他の都立施設が休館等してございましたため、その代替施設として、春高バレー、こちらは例年東京体育館で行われていたものですが、そのような定期大会を受け入れたほか、近代五種全日本選手権などの全国レベルの大会を誘致してございます。大型イベントであるパラフェスや全国育樹祭の調整を行い、特に育樹祭では、両陛下がご臨席されましたので、安全・安心な運営が確保されるよう、特別な警備体制を敷きました。こちらの構築に全面的に協力しております。また、</p>

発言者	内容
	<p>総合スポーツ施設としての公益性を担保しつつも、空いた枠を活用してコンサート等の商業イベントを年 26 回誘致いたしました。地域の賑わいに貢献するとともに、収益性も確保いたしました。</p> <p>また、2019 年のラグビーワールドカップのホスピタリティ会場、そして東京 2020 大会会場となると、都の指定管理施設で両大会どちらも使用されるというのは他にはないという認識をしております。都や組織委員会等からの視察や調査に全面的に協力をしているところでございます。施設側の運営ノウハウを提供して、大会の円滑な運営に向けて支援を行っております。</p> <p>続きまして環境配慮への取組みについてです。当施設は様々な環境配慮・省エネルギー手法が採用されてございます。これらの工夫を最大限生かせるよう運用に努めておるところでございます。節水に関しては、雨水利用で年間約 2800 m³ の上水節減、またプールの水抜きで発生する排水を貯留して、3000 m³ を中水・雑用水として利用しております。また、電気・ガスについては、コージェネレーションシステム・ボイラー・地中熱・吸収式冷凍機、これは大型のものが地下に 4 台ございます。このうちの 1 台がジェネリンクと呼ばれる、コージェネレーションシステムの排熱を利用するシステムとなっております。これらを、省エネに有利な設備から順に使用しております。こちら優先順位がございまして段階制御されておりますが、中央監視のほうで常に確認しながら運転をしております。</p>
<p>武蔵野の森 総合スポーツプラザ 職員</p>	<p>また、空調に関しましては、春や秋などの中間期には、なるべく外気を取り入れて、熱源を極力使わないような運転に努めております。常に環境に配慮した設備運営に努めておるところでございます。</p> <p>続きまして防災への配慮・緊急時の対策でございますが、5 月及び 11 月に、全部門より職員が参加して、隣の味の素スタジアムと合同で防災訓練を実施しております。発災時に円滑な連携や一体的なエリアとしての避難誘導ができるよう、実地で演習しております。5 月は、味の素スタジアムのほうで発災をして武蔵野の森総合スポーツプラザのほうのペDESTリアンデッキに逃げると、それで武蔵野の森のほうからも職員が応援に行くという訓練をしております。11 月には、武蔵野の森のほうで発災をして味スタのほうの管理であります AGF フィールドに逃げるといふ、そういう訓練を行っております。また、平成 31 年度、今年度からですが、大規模な災害時の一時滞在施設の指定を受けることになりました。そのため、昨年度は防災物品の受け入れ等、指定に向けた準備を行いました。また、急病人の発生時などに全職員が対応できるよう、隣接の味スタと一緒に</p>

発言者	内容
	<p>に、合同で上級救命技能講習を受講して、職員全員が資格を取得しております。こちら提案書のほうで約束をさせて頂いているところでもございました。</p> <p>続きまして利用状況についてのご説明に入らせて頂きます。昨年度は、施設全体で 109 万人のお客様にご来場頂いております。使用率を見て頂きますと、平成 29 年度はメインアリーナのほうが 50.6%だったのが、昨年度は 77.2%。サブアリーナのほうも 50%であったものが 81.5%に向上しております。使用率は 29 年度から着実に上がっているという風に思っております。サブアリーナのほうも、高校のハンドボール部、市民団体の卓球大会等、一般団体の継続的な利用が定着して、繰り返し使っているところです。また、個人利用のジム・プールの利用者は、昨年度 166,454 人、月額フリーパスによる利用者も 28,000 人を超えております。フリーパスの会員も堅調に推移しておりまして、利用者増に貢献していると考えております。また、1 日当たりの利用者ですが、29 年度との比較は難しいとは思いますが、29 年度の 3 月には 1 日 395 人いらっしゃったのが、30 年度は平均で 1 日 479 人に増加して、ほぼ毎日 500 人くらいのお客様がお見えになっているという風に考えております。</p>
<p>武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員</p>	<p>続きましてスポーツ振興事業等の実施状況ですが、スポーツ振興事業は 18 事業を実施いたしました。延べ 2,100 人を超えるお客様に参加頂きました。スポーツ実施率の低い働き盛り世代や子育て世代が参加しやすいよう、平日の夜間や土日に事業を実施しました。親子向けの事業を、平成 29 年度は平日に行ったりしていたんですけども、参加率が悪いということで、土日開催に変えたりと工夫をしております。また、幅広い世代を対象に、オリンピック卓球イベントや、パラリンピアン交流事業、元世界チャンピオンが講師の空手教室など、スポーツに親しむ機会を提供いたしております。このようにアスリートが講師を務める事業については大変人気も高うございました。これらの取組みの結果、参加者アンケートでは概ねどの事業も満足度が高うございました。アンケートを実施した事業の 9 割で満足度が 80%を超えたというご報告をさせて頂いているかと思えます。また、地域貢献事業につきまして、18 事業を実施しました。味スタ感謝デーというのを今年も 6 月に行っているんですけども、この来場者を含めて、44,000 人にご参加頂いております。感謝デーのイベントは味スタと一体的に開催して、車いすバスケット等の競技体験や食育教室を行って、スタジアム単体の時には参加者 2 万 5 千人でございましたところ、一体的に行うようになりまして、昨年度 3 万 8 千人となりました。今年度の話にはなりますが、今年度も天候に恵まれたこともあ</p>

発言者	内容
	<p>りまして 39,000 人を超えるお客様にご来場頂いております、地域に親しまれていると自負をしております。</p> <p>続きまして自主事業の実施状況です。こちらはスタジオプログラムでございます。プール・ジムを併設する施設の特性を生かしてプログラムを展開しております、延べ 52,000 人に参加頂いております。こちら講座の数としては 3,700 を超える開催回数となっております。特に子供向けの水泳プログラムは人気でして、5歳～小学生対象のクラスは参加率が 90%を超える状況となっております。半年ごとにスケジュールを見直しまして、より多くの人に参加できるよう、曜日や時間帯等の見直しをしております。</p> <p>次にサービス向上に向けた取組みでございます。駐車場利用者への対応でございますが、イベント開催とジム・プール等の駐車場利用者へのサービスは両立させなければいけないということで、一般利用者の駐車場利用に配慮して、イベントの主催者との調整を行わせて頂いております。</p>
<p>武蔵野の森 総合スポーツプラザ 職員</p>	<p>また、利用者の声を踏まえまして、昨年で以下の整備を行いました。休むところが少ないという声があったので、来館者のための休憩スペースの整備。プールエリアへの物置ラック・ベンチの購入。また、サブアリーナの可動畳収納場所に防球ネットがなかったものですから、球が奥に入ってしまうということがあったんですけれども、その苦情への対応で防球ネットの設置をいたしました。また、サブアリーナに製氷機とか冷水器がなかったんですけれども、昨今、熱中症対策をしなければいけないので、こちらも昨年度設置をしたところでございます。また、年末年始の休館日、例月の休館日、こちら主催者の意向を踏まえまして、施設設備の点検に支障がないように調整して、まだ施設が新しいのでこういうことができるんだと思っておりますけれども、メインアリーナのほうの貸し出しを行いまして、高校バスケ、またアイスショーなどの準備等が行われました。</p> <p>次に利用者ニーズの把握についてでございます。利用者満足度調査を昨年度行いまして、資料のほうも提出をさせて頂いております。ジム・プール・サブアリーナの利用者アンケートでは、施設の清潔さやスタッフの対応が評価され、満足度の評価は 90%を超えております。また、競技団体、コンサートなどのイベント主催団体との意見交換会においては、アリーナ面や観客席の広さなどハード面のほかにも、スタッフの対応や京王線の臨時停車調整などが評価されて、総じて満足との評価を得ております。</p> <p>最後に利用促進への取組みについてでございます。隣の味スタとともに3か</p>

発言者	内容
	<p>月ごとのイベントパンフレットを作成して配布するほか、スポーツ振興事業等についても必要に応じてチラシを作成しております。参加者の募集に努めておりまして、ICTを活用した発信につきましては、HP、Facebookに加えまして、開業1周年を機にTwitterを開始いたしました。こちらは昨年の、この評価委員会のほうでご提案を頂き、Twitterのほうを始めさせて頂いております。各媒体を活用して施設利用の基本事項、スポーツ振興事業等の募集、また、よくお問い合わせが多いのが駐車場の状況ですので、そちらも発信できるように努めております。ご説明は以上でございます。ご審議の程どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小室委員長	<p>では先生方のほうからご質問お願いいたします。</p>
守泉委員	<p>この地域を利用される方っていうのは、主に調布市の方が多いと思うんですけども、調布市っていうのはどういう人たちの層が多いかっていうのは把握をされていますか？</p>
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	<p>はい。利用者満足度調査のほうで、件数はそんなに多いという訳ではないんですけども、例えばジム・プールにつきましては、調布市と府中市、三鷹市、地元の3市を合わせて75%くらいという割合が出ておりまして、調布周辺の方というのがどのような属性をお持ちかというのも、その利用者満足度調査の中で把握はしております。</p>
守泉委員	<p>満足度調査以前に、まず調布市だけの話をしてみると、調布市っていうのは結構あの特徴なところで、病院とか何かっていうのを自前で持っている訳ではないので、非常に身が軽い自治体なんですよ。それで、結構外から移住して来る人が多いんですよ。だから比較的若い層が多いのと同時に、外から移住をして来るので、昔からある地域のコミュニティとかそういうものとの関連があまりなくて、そういう面で、ある面で自由にできるということ。それから京王線がベースになっているので、京王線っていうのは地下にどんどん入って来ていて、駅前に非常に広場が多く使われているんですけども、まだ広場で色んなイベントをやるっていうことがなかなかやれてきてないっていうことがあって。それで、調布市の方針としてもそういう広場をいかに色んな形で活用して、新しいコミュニティを作る土台をやろうかっていうことに、今ようやく力を入れ始めているっていう。そういう面で考えると、空いている広場のところをいかに利用するかとか、それから若い人たちが、お母さんが子供を連れてやってきた時に、例えば長岡市とかでの事例があるんですけども、長岡市っていうのは市役所のど真ん中がアリーナみたいな形になっているんですよ。そこに人たちが集まって色んなイベン</p>

発言者	内容
	トをやっている時に、お母さんが子供を連れて来ているから、ちょうどそここのところで市の人たちがヒアリングもできるんですよ。何か今色んな不満がないかとか、困っていることはないかとか。
守泉委員	<p>だからそういう面では、子供さんを連れて来る場合、調布市と組んでそういうところで色んなヒアリングをやるとか、何かの相談コーナーを丁度そういう時にやりましょうみたいな形でやっていくと、市の政策として非常に合っているんじゃないかなということがあるので、ちょっとその辺はお考えになって頂きたい。</p> <p>それを前提にして、まず1番目なんですけれども、最初に防災との配慮・緊急時の対応のところで、31年度から大規模災害の一時滞在施設に指定されたということがあるので、そのための準備の部分というのは31年度評価とするのか、それとも30年度の評価にするのか、というのが1点目。</p> <p>それから2番目としては、有名な人が来ている場合はいいんですけれども、そうじゃないケースの場合、卓球に関しての利用率が案外、定数に比べて低い。それがなんか意外だなと思うんですけれども、他の23区の自治体だと高齢者の卓球の人気が増えてきているので、なんでこんなところが低いのかなっていうのが2点目。</p>
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	最初のご質問のほうですね、ご提案のほうで30年度か31年度か、一時滞在施設として指定されたのが今年度に入ってからなので、防災計画もこれから立てないといけない訳ですし、昨年度は防災物品の受け入れということで、準備をしたというところだけの評価になってくると思います。
守泉委員	職員の研修とかそういうところの対応は、それは31年度の評価の部分ということですか？それとも30年度にもそういうことをやってきているんでしょうか？
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	やはり職員の研修も、これから防災計画がちゃんとしたものがないと研修はなかなか難しいと思ってますので、それができてからの取組みになると思ってます。
守泉委員	<p>そうですね。だから書き方のところもそういうのが分かるように、翌年度のことをここに書いたとしても評価の対象ではないので、そのために今年度はこういう風にしましたという書き方にしてもらえると分かりやすいです。</p> <p>では2番目について。</p>

発言者	内容
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	<p>はい。卓球の利用率が低いということは報告書のほうから明らかでございまして、こちらについては、昨年度の分析をしまして、原因のほうを明らかにしてまいりたいと思っております。また、今年度も事業計画上行することになっておりますので、今年度の取組みに活かしてまいりたいと思っております。</p>
守泉委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと1点だけ要望があるんですけども、例えば施設のところのスペースの使い方の部分っていうのは、だいぶ改善はされてきているんですけども、本来であれば、例えば休憩のスペースがないからと言われて配置をするんじゃなくて、人が実際どうやって動いているのか・どこで留まっているのかというところを詳しく調査をするんですね。最近で言うとヤン・ゲールっていう人の本にそういうところのやり方が書いてあるんですけども、そうすると、どういう人たちが歩いてきて、どういう人が留まって、どういう層の人がいるのか、例えば複数の男女とか3人くらいの人と一緒に来て留まっているとすれば、そういう時に座る椅子っていうのを直線の形にしたとすると、それぞれのコミュニティの問題としてはあまりいい感じじゃないんですよ。逆に、コの字型にして自由な形に座れると、そうするとプライバシーの部分とかがある程度集団ごとに保たれたりとかっていう風に、すごく細かいことを考えていくと、そういう配置の部分っていうのは、よく観察をすると適切な配置ってできるんですよ。それで、そういうことももう少し細かくやって頂けると、単にここに休憩のスペースをやりましたというだけではなくて、どのような並べ方にしようか、長椅子にしようか、短い椅子を並べていこうか、それから例えばお年寄りの人がこのスペースに来ると、どうしても横になってしまうとかっていうと、他の人に迷惑がかかるっていうのであれば、横にならないようなスペースにするのかとかっていう風に、そういう細かいところももう少し工夫をして頂けると、新しい施設なのでもっと要望に応えられると思いますので、その辺を工夫して頂けるとよろしいかと思えます。</p>
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	<p>はい。ご提案ありがとうございます。持ち帰らせて頂きます。</p>

発言者	内容
小海委員	<p>新しい施設で、まだ2年目に入ったところで、先程の説明で施設の提供について、他の施設、東京体育館が使えないのでそのイベントがこっちに来たとかっていう説明があったと思うんですけど、ということは、それがないともうちょっと稼働率自体落ちちゃうとも言えるのですが、トータルしてこの稼働率、利用状況のところのメインアリーナ 77%とかサブアリーナ 81%、この稼働率は管理される側とするともう十分高いと見るのか、まだまだこれからと見るのか、いかがでしょうか。</p>
武蔵野の森総合スポーツプラザ職員	<p>平成30年度に関しましては、受付の事務を東京都スポーツ文化事業団が請け負って下さっておりました。それなので、年度が始まった時にはスポーツ文化事業団が優先受付をした状態のものを引き継いだという形になっておりました。春高バレー以外にも全日本空手選手権など、また、楽天ジャパンオープンテニスのような有明テニスで行っていたようなものも、全部こちらのほうでお引き受けしたような形にはなっております。その空いたところに、すでにコンサートも20件ほど入れて頂いていたのですが、それに更にうちのほうで誘致したのが6件ということで、26件のコンサートを開いている訳なんですけれども、使用率の目標としまして提案していましたのが70%ということで、提案をさせて頂いております。なので、それと比較すれば、そこはクリアしているのかなという感覚を持ってはおります。また、昨年度に関しましてはアリーナ不足が首都圏で起きていたせいで、非常にあちこちの引きが強かったというのもありまして、先程申し上げた休館日とか、そういうのを潰して用意をさせてもらったようなところもありまして、空いているところにご要望に応じてなるべく詰め込んだといったところもありましたので、このような利用率になっていると考えております。</p>
小海委員	<p>分かりました。</p> <p>もう1点、先程卓球教室の話があったんですけど、これは卓球教室なので、ピンポイントで行った教室の人数が出ているってということですよ？100人定員で31人みたいな。普段、卓球は自由に使えるような感じで利用者がいるのですかね？</p>
武蔵野の森総合スポーツプラザ職員	<p>例えばサブアリーナのほうを卓球で使う時には、予め予約をして頂いて、だいたい試合で使って頂く場合も多いものですから、そうしますと設営に見えてみたい形ですので、ちょっと自由っていう意味合いとは違うような感じですけども。</p>

発言者	内容
小海委員	勘違いですかね。昨年見せて頂いた時に、卓球場みたいなスペースがあったような気がしたんですけれども。
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	卓球用スペースではなくて、サブアリーナで、卓球をする時には卓球台を出してきて、ということを毎回繰り返しています。
小海委員	卓球は少なく、もう1つ自主事業でやられている色んなスタジオプログラムという名前がついたものは、結構参加者が多いと思うんですけど、こちらは、卓球だけ別に出てるのはどうしてですかね。
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	スポーツ振興事業という事業のくくりと、自主事業というのは主にスタジオプログラムで、うちだと東京ドームのほうがしているような事業になるんですけど、基本的にそちらのほうは提案の段階で事業としては別ものとして提案させて頂いております。
小海委員	スタジオプログラムというのは毎週やっている教室的なもので、そこには卓球は入らない？
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	そうですね。スタジオのほうは、例えば毎週月曜日何時から必ずエアロビクスをやります、夜はヨガをやってますというのをずっと年間繰り返しているもので、スポーツ振興事業はそういう定例的なものではなく、年間でスケジュールを組んで、都度、何回かに分けて卓球教室をサブアリーナのほうで実施し、都度お客様を募集してという感じです。
小海委員	スタジオプログラムには卓球はなじまないということですか？
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	プール・ジムエリアにスタジオが2つありまして、そちらは主に体操ですとかヨガですとか太極拳ですとか、そういったものを行うのに向いている場所です、天井があまり高くないので、卓球に向いている場所とは思っていないんですね。
小海委員	分かりました。ありがとうございました。
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	スタジオの方で、ジムの利用者には卓球のビラをたくさん配って、卓球はサブアリーナでやるのですが、利用者の8割近くはジムの利用者さんになっていました。なので、そういった意味ではジムとの連携が取れているのかなと思われま。ただ先程言ったように、卓球人気のあるところで、そういった告知がジムの中にしかできてないのかな、というところが反省点としてありますので、調布市の市報に載せるとか、そういったところは今考えているところでございます。

発言者	内容
小室委員長	丸山先生、もし何かありましたら。
丸山委員	<p>多摩地区は広いので、多摩地区に都の施設ということで、本当は素晴らしい施設だから使いたいと思ってもなかなかアクセスを考えると、とても武蔵野まで行けないということもあると思います。そこで、調布が地元ですが、調布だけではなくて、他の周りの市町村からももちろん使っていいわけですから、そのへの今までの割合というか、どのくらいになっていますでしょうか。大体でいいんですが。</p>
武蔵野の森総合スポーツプラザ職員	<p>地元の3市、調布と府中と三鷹とはよく連携を取らせて頂いているんですけども、優先予約でもお声かけしてるんですが、正直、調布では年間5件ぐらいのご利用があるんですが、府中と三鷹に関しましては、昨年もゼロといった形になっています。特に三鷹に関しましては、つい先日市役所のほうにお邪魔してお話を伺ったところ、やはりちょっとアクセスがよろしくない、そちらについてはどうしたらいいんだろう的な悩みを抱えていらっしゃるという様子は把握できています。</p>
丸山委員	<p>アクセスの問題があるんですね。多摩地区には、分かりました。</p>
守泉委員	<p>ちょっと1点だけ。時間で申し訳ないんですけども。</p> <p>これは東京都も含めた形の要望なんですが、今、例えばアジアの中で見た時に、スポーツの中でもeスポーツというものがありますよね。eスポーツの大きなアリーナをやれるところが、韓国ではあるんですけど、日本はないんですね。で、今これからオリンピックの種目にもなると同時に、今の若い人たちの層の中にも、世界中ですごく市場が盛り上がっている。</p> <p>特にアメリカとかの場合では今はアウトドアのスポーツがどんどん減ってきて、野球だとかそういうものを見る人が減ってきていて、逆にeスポーツを見る人っていう、競技者だけではなくて、増えてきているんですね。それがじゃあ日本の中でどこでできるかっていうと、今っていうのは小さい施設として秋葉原にあるぐらいで、ようやく競技団体ができてきているんだけど、アリーナとしてやれるところが非常に少ない。その時にこの場所って結構うまく考えたらちょっとした大会ができるかもしれないかなと。その時に、人を呼び込むっていう意味で、観客を集めるっていうことで考えた場合に、そういう団体とかと組んで、この組織の認知度を高めるとか、1つは多摩のところにおけるそういうeスポーツの聖地になり得る可能性がある場所だなと思うので、できればそういう</p>

発言者	内容
	<p>ところも含めて、新たな観点として、すぐにできるかどうかは別として、東京都さん含めて協議をして頂ければありがたいと思います。</p>
<p>武蔵野の森 総合スポーツプラザ 職員</p>	<p>ご提案のほうありがとうございます。eスポーツに関しましては今年度も、アリーナが空いてないかみたいな問合せを頂いたりしております。ただその前にちょっとクリアしなきゃいけない問題があると思ってしまして、当施設において、スポーツ実施計画、スポーツ推進計画、また、スポーツ都市東京の実現、では、その時のスポーツって何なんだという話がありまして、スポーツ実施率70%を目指すといった時に、そのスポーツにeスポーツが入るのかみたいなところから、併せて、例えばスポーツとコンサートで利用料金なんかも違ってまして、スポーツが安くなっている訳です。そうすると、じゃあ東京都としてeスポーツっていうのを、スポーツとしてどう考えるのかといったところを、ある程度固めた上で実際に私どもが動くことになるんじゃないかという風に考えてます。</p>
<p>守泉委員</p>	<p>要はね、そんなことを言ってるから未だにダメなんですよね。もうオリンピックのところでその話っていうのは決着をしちゃったんですね。だからもうそれはスポーツなのか、スポーツじゃないかとか、そういう話は、先進国ではもはやそういう議論にはならなくなったんですよね。だけど日本では未だにそういう問題と、プロの扱いの部分で法的な問題が1つあるので、賞金の問題に関して法的にどうなのかっていうところで議論されてるんで、なかなかそういうところがないのと、それから東京都の計画もあるので、そこの兼ね合いはあるんだけど、もうそれがスポーツなのかどうかなんてことを議論するのは、もう止めたほうがいいと思うんですよね。</p>
<p>小室委員長</p>	<p>それではよろしいでしょうか。 では、武蔵野の森総合スポーツプラザでした、ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

発言者	内容
<p>渡辺課長</p>	<p>では資料6の3ページ目をご覧ください。武蔵野の森総合スポーツプラザでございます。</p> <p>評価の観点といたしましては、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っていること。また、新しい施設なので、PRに力を入れて、利用者促進を図っていることなどがございます。</p> <p>以上のことからA評価とさせていただきます。</p>

発言者	内容
小室委員長	<p>いかがでございましょうか。</p> <p>ではA評価ということでよろしゅうございますか？</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京体育館】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
小室委員長	<p>午後は引き続き指定管理者によるプレゼンテーション、質疑、二次の評価という流れで進めさせていただきます。</p> <p>最初は東京体育館のプレゼンテーションでございます。</p>
東京体育館職員	<p>東京都スポーツ文化事業団事務局長でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、日頃から東京体育館の施設運営に関しましてご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>これより東京体育館におきます平成 30 年度の管理運営状況につきましてご説明させていただきます。お手元の A4 の「平成 30 年度の管理運営状況（東京体育館）」と題したものでご説明させていただきますので、お願いいたします。</p> <p>はじめに1番上の欄「施設の提供について」でございます。東京体育館は東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた改修工事のため、昨年7月から休館となりました。このため、平成 30 年度の開館期間は4月～6月の3か月間となっております。東京体育館は日本を代表します体育館として様々な屋内スポーツの世界大会や全国大会を開催いたしまして、都民の皆様にも多くの夢や感動を提供できるよう努力してまいりました。平成 30 年度におきましても、「体操ワールドカップ東京大会 2018」や「HANDBALL JAPAN CUP 2018」をはじめ、国際大会だけでなく大規模大会を数多く誘致し、開催いたしました。また、そうした大会で出場選手が最高のパフォーマンスを発揮するとともに、観客の皆様が安全・安心かつ快適に観覧できるよう、主催者と緊密な連絡体制を取りまして、効果的かつ円滑な大会運営に全面的に協力してまいりました。その他、公共性を担保しつつ、メインアリーナの空いた利用枠を活用いたしまして、コンサート等の興行系イベントを開催することで、スポーツ以外にも都民の皆様楽しんで頂く機会を提供するとともに、収益の確保を図ってまいりました。このような収益は、利用者サービスの向上や安全・安心の確保に向けた取組み等に充てるなど、</p>

発言者	内容
	<p>都民の皆様へ利益を還元していきたいと考えております。</p>
<p>東京体育館 職員</p>	<p>7月からの休館にあたりまして、都の改修工事及び東京 2020 大会開催に際し、事務所機能や館内備品等が必要になるとのことでございますので、東京体育館の運営機能を、設備管理担当部門を残しまして外部に移転させた他、施設内の主な用具や什器・備品の類を改修工事や東京 2020 大会の準備に合わせて移転いたしまして、それ以後、東京都や組織委員会と連携しながら、現在、施設の運営を的確に行っているところでございます。また、休館期間においては必要な警備業務や維持管理業務を引き続き適切に行うとともに、改修工事設計業者や施工業者と緊密な工事調整を行いまして、工事の実施に全面的に協力してまいりました。さらに、大会が終わり再開館後に東京体育館がより利用しやすい施設となるよう、コンソーシアム各社や委託業者と定期的に打合せを行いまして、検討を進めております。</p> <p>続きまして「情報漏えい事故への対応」についてでございます。当施設は東京 2020 大会の競技会場となることから、サイバーセキュリティへの対策が必須となっております。このため、セキュリティ向上として、サーバのクラウド化や不正アクセスやデータ漏えいを防ぐためのネットワーク拠点への UTM の設置等、情報システムやネットワークに対する各種セキュリティ強化策を行いました。こうしたシステム上のセキュリティ強化に加え、警視庁や内閣官房等が主催する研修会に積極的に参加し、また、警視庁が提供する情報連絡用 Web サイト等を通じて警視庁との連絡体制を確立するなど、有事の際の対応の体制を強化しております。</p> <p>次に「防災への配慮・緊急時対策」でございます。防災対策への取組みといたしまして、東京体育館消防計画に基づきまして、自衛消防訓練を6月に行いました。訓練にはコンソーシアム各社や館内関係団体が参加いたしまして、災害発生時の自衛消防組織の行動要領や各種消防機器の操作を確認いたしました。また、渋谷消防署の指導のもと、自衛消防活動に必要な知識の講習と消火器使用等の技能訓練を行いまして、緊急時に適切な措置・対応を取れる体制整備を進めてまいりました。休館となった7月以降も、東京体育館の管理権原者・防火管理者として施設の防火管理を行い、改修工事開始後は、現場の工事施工業者と適宜情報交換を行いつつ連携して防火管理に取組んだ結果、事故なく管理することができております。</p>

発言者	内容
東京体育館職員	<p>次に「利用状況」でございます。個人利用につきましては、平成 24 年度に大規模改修工事の休館がございまして、再開館後初年度の平成 25 年度には大幅な利用者数の減がありました。その後、横断幕の設置、近隣住民への売り込みチラシの配布、近隣駅での広告掲示等、様々な媒体を利用した広報活動を行いまして、利用者数の回復策に取り組んできたところでございます。平成 30 年度は、こうした取り組みが功を奏しまして、ようやく休館前の水準に回復しつつあったところであるのが現状でございます。30 年の 4 月～6 月の利用者は 175,000 人余りで、前年度の同期間と比較しますと、約 1%の増加となっております。団体利用につきましては、施設の空き状況をホームページで公開するなど、空いた利用枠を有効活用するよう努力した結果、平成 18 年度以降、毎年 100%に近い稼働率が続いております。平成 30 年度については、サブアリーナは年度当初より休館となっておりますが、メインアリーナは 3 か月間の稼働率が 100%を達成いたしました。しかしながら、今回 2 年以上の休館ということになり、個人利用・団体利用とも利用者離れが予想されるところでございます。当グループといたしましては、過去の休館時の対応で培ったノウハウを活用いたしまして、再開館に向けた準備を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>続きまして「スポーツ振興事業の実施状況」についてご説明いたします。スポーツ振興事業では、子供から高齢者まで、また、障害の有無や体力の程度に関わらず、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむための取り組みや、アスリートの育成に寄与するための支援事業、指導者育成事業等を行っております。平成 30 年度におきましては 6 月までの限られた期間での実施となりましたが、前年度の実施における利用者からの要望を踏まえ、また、ジュニア世代、働き盛り・子育て世代、シニア世代、障害者スポーツといった、事業の対象者のバランスなどを考慮して精査した 12 事業を行いました。</p> <p>最後に「利用者の満足度」についてでございます。東京体育館では、利用者の利用状況や満足度を把握して今後の事業展開に向けた基礎資料とするため、毎年利用者満足度調査を行っております。平成 30 年度においては、団体利用、スポーツ振興事業及び自主事業についての調査を行いました。当グループでは平素から、利用者懇談会や意見箱による利用者意見の聴取などを通じまして、利用者ニーズや要望の把握に努め、業務改善に努めてまいりましたが、こうした取り組みの結果、平成 30 年度は満足度 95.8%という高い評価を得ることができました。</p>

発言者	内容
東京体育館職員	<p>この調査結果については、コンソーシアム各社の現場責任者で構成される実務担当者会議を通じて共有し、各社スタッフが共通認識をもって更なるサービス向上に取り組んでおります。</p> <p>東京体育館の管理運営状況について、雑駁ではございますが説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先生方、ご質問がございましたらお願いいたします。</p>
丸山委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>東京体育館は、全国大会などに利用させていただいているのですが、現在は改修工事のために使えませんので、千葉県船橋アリーナやさいたま市桜区のアリーナなど、東京体育館のように大きな体育館を外部に求めて大会を行っています。ですから、東京体育館が早く利用できると有り難いです。</p> <p>そこで伺いますが、指定管理者になられて7年になると聞いています。一緒にコンソーシアムを組んでおられる会社は、ずっと変わっていないのでしょうか？</p>
東京体育館職員	<p>大きくは変わってはいないんですけども、多少構成が、事業の承継等で会社が変わったりした関係がございますけれども、基本的には同じような枠組みでやっております。</p>
丸山委員	<p>ということは、指導というか、話し合いというか、非常に上手くいってるんじゃないかと思うんです。というのは、最初の頃は、「使うと怒られる」みたいな。要するに、「こうしなきゃいけない」って。「何でそうするんですか」って聞いたから「上から言われてます」ってよく言ってたんですけど。最近は逆に、フォローしてくださるようになってまして、非常に上手く指導なさってるんじゃないかと感心しております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
小室委員長	<p>ちょっと私のほうから、いいですか。</p> <p>「平成 30 年度の管理運営状況」という資料、ありますよね。その中で、個人利用者数の説明のくだりなんですけど、「平成 24 年度の大規模改修に伴う長期休館のため大幅に落ち込んだが、PR 等の努力を重ねた結果」と書いてあるんですけど、平成 24 年度の大規模改修に伴う長期休館のためって、平成 24 年度の話がここに書いてあるのはどういうことなんですか。</p>

発言者	内容
東京体育館職員	平成 24 年度が、平成 24 年の 4 月から平成 25 年の 1 月で、約 1 年間休館になりました。その間に、個人利用者は結局トレーニングジム等ですので、民間のほうに流れていったりしまして、それと同じことが今回も起こるのではないかと。それに関しては前回の経験を踏まえて、私どもとしてはできるだけ早く回復できるように頑張っていきたいということで書いてございます。
小室委員長	要するに平成 24 年度の大規模改修で減った個人利用者をこうやって回復したっていうことを、その説明と現在を比較して語ろうとしてるから平成 24 年度の話がここに出てるっていう、そういうことですか。
東京体育館職員	そうですね。はい。表現が分かりにくくてすみません。
小室委員長	分かりました。 はい、守泉先生。
守泉委員	サイバーセキュリティ対策に対応したっていうことの中に、サーバのクラウド化っていうことをおっしゃってたんですけども、国の今の方針、国のシステムなんかに関しても今、通達が出てて、基本的に新しいシステムを入れる場合にはクラウド化を検討しなさいってことが言われているので、そういう面ではすごく方向的には良いと思うんですけど、クラウドで飛ばしてる先っていうのは、国内の企業で、場所も国内にあるっていうことは確認はされているのでしょうか。
東京体育館職員	具体的にクラウド化をしましたのは、ホームページ関係の情報をクラウド化したんですけども、そちらについては国内の拠点で、関西と関東に分かれているという風に聞いております。
守泉委員	はい、分かりました。ありがとうございます。
小室委員長	では、以上をもちましてヒアリングを終わります。ありがとうございました。

二次評価の審議【東京体育館】

発言者	内容
渡辺課長	では資料 6 の 4 枚目でございますが、東京体育館のページをご覧ください。 評価の観点といたしましては、長年の管理実績と、信頼関係の構築により、安定的管理が行われていること。また大規模大会の誘致やこれまでの各スポーツ競技団体との信頼関係から、大会運営や施設の有効利用が十分になされている。さらに国際大会や全国大会を開催し、わが国を代表するスポーツ施設としての役割

発言者	内容
	を果たしている。 こういったことから、A+という評価とさせて頂いております。
小室委員長	いかがでしょうか。
丸山委員	結構です。
小室委員長	ありがとうございます。ではこのA+という評価にさせて頂きます。
丸山委員	東京体育館は、最近、利用者対応がとても良くなったのです。ずっと利用させて頂いて、良く分かります。

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京武道館】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
小室委員長	東京武道館のプレゼンテーションでございます。
東京武道館 職員	<p>武道館館長でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>では、いきなりではございますけれども、お手元の資料に基づきまして、確認項目ごとにご説明させて頂きます。</p> <p>まず「施設の提供について」でございます。</p> <p>東京武道館は武道の普及振興を図る都の中心拠点、「武道振興の拠点」施設であることから、各種武道の全国大会、関東大会などの大規模な大会について、各団体との綿密・適切な利用調整を行いまして、多くの大会を開催することができております。さらに当館を初めてご利用になる団体でも万全に大会が開催できるように、主催者等と開催前から密接な打合せを行いまして、円滑な大会運営に向けてサポートしてまいりました。その結果、選手が持てる力を最大限に発揮し、観客が快適に観戦できる質の高い大会の開催および成功に貢献するとともに、主催者からも高い評価を頂いております。</p> <p>次に「施設・設備の保守点検」についてです。</p> <p>東京武道館はその名の通り総合武道施設でございまして、各種道場は基本的には素足での利用を前提とされていることから、安全・快適な利用を実現するために常に適切な状態の維持管理に努めております。大武道場をはじめ第二武道場・弓道場の床は木製であり、開館前の床清掃時の確認、利用終了後の点検、毎週月曜日に複数名の職員による目視点検等を行いまして、その時々状況に応じて床板の研磨・交換・張替えなどを適宜実施するなど、床の維持管理には特に注意を払って対応しております。畳敷きである第一武道場では、開館前の日常清掃の際</p>

発言者	内容
	<p>に除菌スプレーを噴霧するなど、清潔な状態を維持するように努めております。</p> <p>また、館内スタッフによる連絡会を毎月開催いたしまして、会議終了後はメンバー全員で施設巡回を行うなど、定期的な情報交換・共有に努め、不具合が生じた場合、その箇所の早期発見・修繕など、安全・安心・快適な利用に向けての不断の取組みを行っております。次に、利用者サービスの向上にも繋がりますが、大会の観覧等ご利用が多い大武道場南口の玄関前の階段に、足腰の弱い方でも安全に昇降できるよう、手すりを設置いたしました。</p>
東京武道館職員	<p>続きまして、利用状況に関してご説明させていただきます。</p> <p>まず個人利用者数ですが、平成 30 年度はトレーニングルームでの年間個人利用者数が前年に比べ約 12%増となり、開館以来初めて7万人を突破いたしました。これは利用状況の Twitter 配信、ポイントカードの導入、レディースデーの実施など、継続的な様々な取組みと、近年の健康志向ブームがマッチしてきたものと考えております。</p> <p>次に団体利用稼働率でございますが、平成 30 年度の大武道場の稼働率は 89.2%と過去最高を記録し、午前・午後を合わせました日中利用だけを見ますと、すでに 9 割を超える状況となっております。これは、東京体育館等の施設の改修に伴う各種大会の開催も限定的でございます、施設の振替えによる高止まりではないものと分析いたしております。優先受付での綿密な利用日調整や大規模大会の開催による認知度の向上、定期的利用団体への施設空き情報の発信、学校運動部活動、チーム・サークル等への PR など、これまでの継続的な取組みが効果を現してきたものと考えております。</p> <p>次に「事業の取組み」のうち「スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況」についてでございます。</p> <p>スポーツ振興事業では、武道の普及振興に努めるべく、武道系部活動、合同稽古等の青少年向け武道教室を、また、初めての武道体験として子供や高齢者、障害のある方が武道に親しむことができる機会を提供するなど、33 の事業を計画通り実施し、昨年より 4%増の 10,834 名のご参加を頂きました。</p> <p>自主事業では、「有名選手・指導者ふれあい事業」や「U-18 将棋スタジアム」「ジュニア囲碁パーク」など 3 事業を実施し、1,771 名の方に、武道だけでなく伝統文化に親しむことができる機会を提供してまいりました。また、スタジオプログラムを中心とした 49 種のメニューを 1,622 回実施し、日常的な運動実践の場として好評を得るなど、スポーツ実施率の向上に寄与しております。</p>

発言者	内容
	<p>体育の日の記念事業では子供の武道体験など多彩な体験機会を提供いたしまして、8,000人近くの方々が来館されました。平成30年度は武道館前広場にお子様向けのふわふわ遊具の設置や、アテネ・オリンピックの柔道競技メダリストやシドニー・パラリンピックの車椅子競技メダリストなど多彩なゲストをお呼びするなど、メニューに工夫を凝らしたことで、生憎の雨模様の中、初めて来館してくださった方が4割を超える状況となっております。</p>
東京武道館職員	<p>次に「サービス向上に向けた取組」でございます。</p> <p>昨年度は、開館以来使用していた大武道場の床2,000㎡を覆います養生シートが老朽化により波打つなど、足元がおぼつかない状態となっていたため、約1,200万円をかけて更新いたしまして、利用者の安心・安全の確保に努めさせて頂きました。また、武道の国際的な広まりや、日本語学校等による運動会の利用など、海外の人々が武道館を訪れる機会が増加しており、第一弾として二か国語の案内パンフレットを製作いたしました。また、トレーニングルームに設置してございますWi-Fi設備を更新する際、従前の設備ですと少人数しか利用できなかったものですから、大容量の設備に交換いたしまして、より多くの方が利用できるようにするなど、利用者の声を取り入れ、サービスの向上に取り組んでまいりました。</p> <p>最後に「利用者ニーズの把握」でございますが、利用者満足度調査では、平成30年度は前年度に引き続き9割を超える高い評価を得ることができました。また、館内に設置してございますご意見箱への投書や、直接口頭での申し入れなど、利用者の声、あるいは稽古等の定期利用団体や大規模な大会主催者団体と行う利用者懇談会での意見交換を通じまして、利用者ニーズの把握に努めております。さらにトレーニングルームでは覆面調査員によるサービス品質チェックを行うなど、多様な方法でニーズを把握し、業務改善に取り組んでおります。なお、利用者からの意見・要望については、それらに対する回答と併せて館内に掲示し、より一層のサービスの向上に努めているところでございます。</p> <p>雑駁ではございますが、説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>では先生方から何か。はい、丸山先生。</p>
丸山委員	<p>まず6月28日ですが、施設の見学をさせて頂きまして、ありがとうございます。感心したのはですね、トレーニングルームで皆さんを見てましたら、相当慣れてる方ばかりで、中には初心者の方もいらっしゃったんですけど、非常に初心者の方に丁寧にご指導なさっている姿を見て、ちょっと感心しました。</p>

発言者	内容
	<p>そこですね、たぶん武道専門ですからほとんど満杯だと思いますけれども、空いてる時に武道以外のスポーツに利用して頂くことがあるんじゃないかと思うんですが、もしありましたら、どんなスポーツで使っているかちょっと例を教えてくださいとありがたい。</p>
東京武道館職員	<p>今のお尋ねはトレーニングルームじゃなく、武道場のほうということでございますね。</p>
丸山委員	<p>はい、全体で。</p>
東京武道館職員	<p>基本的には武道を最優先に受付させて頂いておりますけれども、やはり平日ですと空きが生じますので、そこには卓球大会ですとか、バレーボールですとか、あとは各種学校ですね、高校生の体育祭ですとか、外国語学校の体育祭、こういったものが結構入ってきておりまして、平日利用もかなり活気を帯びているという状況でございます。</p>
丸山委員	<p>ありがとうございます。</p>
小室委員長	<p>私のほうからちょっとお聞きしてよろしいですか。 個人情報の保護について、具体的にどういったことに取組まれているか教えて頂きたいんですけども。</p>
東京武道館職員	<p>個人情報の保護に関しましては、利用者の方から個人情報、お名前ですとか住所ですとか、そういったものをお伺いして、それについては武道館のスタッフのほうで適切に管理をいたしまして、漏えいすることがないようにとか、目的外の使用とかそういったことがないようにというのを、館内のスタッフで徹底して対応しているところでございます。</p>
東京武道館職員	<p>補足をさせていただきますと、事業団といたしましてはPマークを取得している関係上、毎年そちらの監査を受けておりまして、Pマークに準拠するような適切な管理等は徹底して実施しているところでございます。</p>
小室委員長	<p>その外部の検査っていうのは、事業団が管理している施設全部に毎年入っているのか、あるいは特定の施設で輪番のように入っているのか、そこら辺はどうなんでしょうか。</p>
東京武道館職員	<p>監査のほうは、全ての現場には毎回入っておりません。事務局を中心として、順次各施設を回っているというようなところでございます。</p>
小室委員長	<p>分かりました。では以上で東京武道館プレゼンといたします。 ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【東京武道館】

発言者	内容
渡辺課長	<p>では資料6の東京武道館をご覧ください。</p> <p>評価の観点でございますけれども、施設の空き時間には球技などのスポーツも取り入れている。また、質の高い管理がなされていて、安全かつ清潔である。また、各種事業プログラムやトレーニングルームの使いやすさによって、個人利用者数が昨年度よりも10%以上増加している。さらに自主事業について、新たな事業も含め、ほとんどの事業で参加者数が前年度を上回っているというのが評価の観点として挙げられております。</p> <p>なお、評価としてはAとさせて頂いております。</p>
守泉委員	<p>ここはスポーツ施設であっても囲碁スタジアムとか、ジュニア囲碁パークとかやってますけども、これは別にスポーツの部分としての評価に入れていいんですか？</p>
小室委員長	<p>スポーツ以外の、文化っていうか、空いた時間を利用して、有効活用して。</p>
守泉委員	<p>有効活用という意味でってことで？</p>
小室委員長	<p>スポーツ振興ではないですね、施設の有効活用。</p>
溝延 課長代理	<p>ですね、有効活用という観点からは努力頂いているのかなと。</p>
守泉委員	<p>これって感想になるんですけど、どうしても、例えば女性の護身術関係とかってあまり稼働率が上がらなくて、その一方で和のほうでなくて洋のほうの部分で、色んな部分でニーズがけっこうあって、それならば護身術でも、例えばイスラエルのクラヴマガみたいなね、ああいうような洋のほうの護身術を組み合わせていくと、もしかしてニーズがあるのかな？って。本来こういうところの部分でもうちょっと浸透してくれるとね、すごく良いんだと思うし、場所的にも本来そういう色んな武道とかをなるべく色んな形で広めてもらいたいっていうこともあったんで、そういうのをちょこっと入れつつ、それを見せつつ、これも分かってよね、みたいな感じになるともっと良いのかなと思います。</p>
溝延 課長代理	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
小室委員長	<p>ではこちらAという評価でよろしいでしょうか。</p>
丸山委員	<p>異議なし。</p>
小室委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京辰巳国際水泳場】

指定管理者：オーエンス・セントラル・都水協・事業団グループ

発言者	内容
小室委員長	ではこれから辰巳国際水泳場のプレゼンテーションに入ります。
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>東京辰巳国際水泳場の館長でございます。それではよろしくお願いたします。</p> <p>まず、お手元の資料に入る前に全体の状況ですけれども、平成 30 年度は大規模改修工事がございます、これに伴いまして 11 月 26 日から翌年 3 月 24 日までの約 4 か月間、全館休館となりました。私どもも、この工事の円滑な進行に協力をいたしまして、休館明けのタイトな日程で予定されておりました大規模大会を無事成功裏に終えることができました。</p> <p>それではお手元の資料に沿ってご説明を申し上げます。</p> <p>まずは「施設・設備の保守点検」についてでございます。設備職員を適正に配置し、施設・設備の監視や保守点検を確実に行いました。また、設備・機器の老朽・劣化に応じて迅速に修繕対応を行いました他、レーンボックス等、競技・大会運営用備品の修繕を遅滞なく行いまして、競技環境の維持に努めました。稼働日数は例年の 3 分の 2 でございましたけれども、件数にしてほぼ昨年同様の修繕対応を実施しております。</p> <p>次に「プール施設の管理」でございます。中央監視システムの中で行う水質や水温・室温等の常時監視等の他に、プールサイドに詰めておりますライフガードがプールの水を採取して毎時水質チェックを行っております。このダブルチェックによりまして、水質など適正な利用環境の維持を図っております。この結果、毎年利用者満足度調査におきましても、水質は満足度が極めて高い水準に達しております。</p> <p>次に「人材育成の取組み」でございます。休館中の取組みとして、研修を充実いたしました。具体的には、コンプライアンスやサイバーセキュリティ・個人情報保護等に関する研修を実施しました他、研修専門機関から講師を招いて顧客満足度の向上や外国人対応に係る接客研修を実施いたしました。さらに、事業やサービス向上等に係る先進事例の知見を得るために他施設の視察を実施いたしました。また、外部からの窓口となります受付スタッフには電話案内に関する研修も実施しております。こうした取組みによりまして、利用者満足度調査におきましても、スタッフの接客対応は例年極めて高い評価を頂いております。</p>

発言者	内容
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>次に「施設の提供」でございます。当館の設置趣旨や役割を踏まえまして、日本水泳連盟等と緊密な連携を図り、大会の招致を積極的に行いました。大会実施に関しましては、大会主催者に対し準備や円滑な運営に向けたサポートを積極的に行っております。その結果、主催者からは大会運営がとてもやりやすいと好評を頂いております。また、24年度の「指定管理者運営状況評価」の中で、「今後取組むべき」とされておりました「地域との連携」に関しましては、当指定管理者グループ各社の支援により、江東区立中学校連合水泳大会の誘致・開催を引き続き実現いたしました。更に江東区民水泳大会も、29年度に引き続き当館で開催することができた次第でございます。大規模大会の実績としましては、通常屋内で行われます水泳競技種目は4種目でございますが、この4種目の日本選手権として4つの大会、更にパンパシフィック 2018 等の国際大会3大会等がございます。30年度は大小合わせて60大会を当水泳場で開催いたしました。</p> <p>次に「防災への配慮」についてでございます。防災訓練は自衛消防訓練を5月・11月の年2回行いました他、休館中の取組みとして応急救護訓練を実施いたしました。また、当館自衛消防隊員が地元消防署主催の、通報・消火・救命救急に係る基礎技術審査会に参加いたしまして、例年のことではございますけれども、防火管理の技術向上を図っております。一方、帰宅困難者の一時滞在施設として施設内レストランと協定を結びまして、独自に一時滞在用者の清涼飲料水を確保する他、設置自販機についてもベンダー各社との覚書により、災害時における飲料水の無料提供を可能にしております。</p> <p>次に「利用の状況」のうちの、個人利用者数でございます。30年度の利用者数は30,748人。休館の影響で前年度より1万人以上の減となりましたけれども、1日当たりの利用者数では263人と、前年度と比較して60人増えてございます。これは近年で最も多い人数でございます。また、「映像によるワンポイントアドバイス」等々、水泳愛好者向けのきめ細かなサービスに取り組んできたことの反映と考えられますので、こうした取組みを今後も続けていきたいと考えております。</p> <p>次に団体利用稼働率でございます。30年度はメインプール96.7%、サブプール95.1%、ダイビングプール50.7%となりました。ダイビングプールの稼働率は前年より下がりましたものの、メイン・サブの両プールの利用率はそれぞれ1.1ポイント・2.3ポイントの増加となりまして、いずれも極めて高い稼働率を確保できたと考えております。</p>

発言者	内容
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>次に「スポーツ振興事業の実施状況」でございます。事業計画で計画した 13 事業について、11 月末からの全館休館を見越して可能な限り前倒ししての実施に取り組ましました。結果として 11 事業を実施できました。残りの 2 事業につきましては残念ながら、工事の方々との日程調整が休館前にはなかなかできなかったということで、結局 2 事業を断念することになったということでございます。なお、例年 9 月と 3 月の年 2 回行っております辰巳国際水泳場杯につきましては、9 月開催分、これは競泳とかフィン競技でございますけれども、26 回目の連続開催ということになりまして、参加者が延べ 3,603 人と、多くの皆様に楽しんで頂きました。</p> <p>次に「自主事業の実施状況」でございます。子供世代を中心に 7 事業を展開しております。近隣の住宅開発の影響に伴う人口増加等も背景に、「こども水泳スクール」等が人気・好評を博しております。曜日ごとのクラス設定による通年の教室形式で実施しているために、休館中はこの水泳教室も休講となりましたけれども、希望者には近隣スクールで継続して指導が受けられるようにする等、可能な限り受講者の意に沿う対応を行ってまいりました。</p> <p>次に「サービス向上に向けた取組み」でございます。都民からの要望を踏まえ、プリペイドカードの共通化に取組み、東京体育館等の他施設でも利用可能なカードを導入して既存カードからの転換を進めました。また、レーンロープなど経年劣化した競技用備品等の更新を積極的に行いまして、競技利用環境の維持・向上に努めてまいりました。その他、七夕祭りなどの季節の飾りつけや、例えば近隣中学校の協力を得て行う生徒の絵画の展示、あるいはオリンピックの協力による金メダルの展示など、楽しい・親しみやすい雰囲気づくりに努めてまいりました。</p> <p>次に「利用者ニーズの把握」についてでございますが、利用者懇談会やご意見箱による意見・要望等の聴取・収集のほか、利用者満足度調査で運営状況に対する満足度をお尋ねし、サービス向上への手がかりとしております。30 年度の総合満足度は「十分満足」と「まあ満足」の合計が個人利用・団体利用・事業参加者のいずれも 97%を超えております。引き続き高い評価を頂いているものと思っております。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>最後に「その他」として、大規模工事への対応についてでございます。東京都や施工業者等と積極的に情報の共有を図りまして、工事の進捗に合わせて必要な助言や求められる対応を的確に行ってまいりました。また、工事用監視カメラの設置、これは警視庁からの要請に基づくものでございますけれども、これにあた</p>

発言者	内容
	<p>っては、インターネット環境の整備や、その運用に至るまで、全面的にこれに協力をいたしました。更に合同の安全点検パトロールを提案し参加するなど、関係者の安全意識を改めて喚起し、安全な環境の確保に努めてまいりました。</p> <p>雑駁になりましたが、以上で平成 30 年度管理運営状況の説明を終わります。今後も引き続き、利用者の声に耳をすまし、利用者に寄り添う運営に努めてまいります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では先生方。</p>
小海委員	<p>2点あります。</p> <p>1つは、利用者ニーズの把握ということで、今のご報告ですと総合満足度は高く、97%ということなのですが、頂いているデータですと利用者アンケートで、「施設の清掃状態（清潔さ）について」というところがちょっと数字が悪いんですけど、この理由を聞かせてくださいというのが1つ。</p> <p>あとは確認なんですけども、今の報告でスポーツ振興事業の事業計画が13だったのが実際は11と言われたんで、こちら頂いている数字が、計画が14で実施が11っていう数字になっているんですけど、どちらが正しいのか。もう1点、自主事業のほうも7事業と報告されたんですけど、こちらの資料だと8つの事業が載っかってるんですけど、そのへんちょっとズレがあったんで、確認ということです。お願いします。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>まずは事業の関係のほうからご説明申し上げます。</p> <p>スポーツ振興事業14事業ということで、どうしてもパッと見てしまうと14事業と受け止めがちなのですが、実は私どものカテゴリの整備の中で13にしております。その理由は、辰巳国際水泳場杯、これが年に2回ございまして、例年ですと9月と3月に開催しているものですが、これがそれぞれ別々にカウントするか、あるいはまとめて1つとカウントするかということなんでございます。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>我々はその2つを1事業としてカウントしておりますので、これは13事業となります。したがって、辰巳杯に関してはご指摘の通り、夏の9月の辰巳杯は開催できましたけれども例年3月に行っている辰巳杯、これは飛込み・アーティスティックスイミングの大会でございますが、これが長期休館の関係でなかなか日程が押さえられなかったということでございます。</p>

発言者	内容
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>自主事業に関してですが、報告させて頂いている中では「こども水泳スクール」が月曜日コースと通常のコースという風に2つに分かれてるところがあるんですが、これも先ほどの振興事業の辰巳杯と同様、1つのものとしてこちらで考えさせて頂いて、子供水泳の事業という形で見させて頂いています。</p>
小海委員	<p>わかりました。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>最後に清掃状態について、かなり評価が悪いんじゃないかということでございますが、これも私どもは非常に頭を悩ませているところでございますけれども、29年度に比べて30年度がかなりのポイントで落ちております。それで、もちろん清掃の体制自体は変わっているわけではございませんので、違う要因でその評価が落ちているということでございます。</p> <p>この利用者満足度調査を行った際に頂いている、個々のご意見や苦情あるいは要望でございますけれども、そういうところから判断するに、清掃状態が悪いという風にご指摘を頂いているその主な理由は更衣室です。更衣室の床、特にシャワールームの床が汚れている、もっと端的に言いますと、シャワールームの特に排水口に髪の毛がいっぱい溜まっているじゃないかというご指摘をたくさん頂いている。これをなんとかしてほしいということでございます。</p> <p>それで、なぜ29年度と30年度がこんなに違うのかということで色々調べた結果でございますが、利用者、特に個人利用の方々のプロフィールがかなり変わっております。まず女性が圧倒的に多くなっている。全回答者の中で、男性と女性の比率が29年度は2:1、これが30年度は1:1になりました。それから年齢層を比べると29年度から30年度にかけてかなり若返っております。50代・60代が減って、30代・40代がどっと増えてきたということでございます。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>もう一つ重要な要因は、休館中を除いて短い期間ではございますけれども、利用者数が増えている。それで、利用者数が増えれば当然のことですが、更衣室、特に団体には2時間単位でお貸ししているものですから、2時間おきに更衣室・シャワールームが混むということで、男性より特に女性のほうが丁寧に髪の毛などを洗われる方もたくさんいらっしゃるだろうということで、人数が増えたこと、それから女性が増えているということがこの背景にあるのかなということでございます。</p> <p>従って、清掃の体制がこういう状況の変化に残念ながら追いついていないというのが、この評価が下がった理由ではないかなと思います。以上です。</p>

発言者	内容
小海委員	よく分かりました。ありがとうございました。
小室委員長	はい、守泉先生。
守泉委員	<p>ご説明ありがとうございます。今のお話だと、場合によっては今までの利用層に変化が見られて、今までこのへんから来ていたと思っていた以外の所から移動してきている可能性もあるのかもしれないんですよね。例えば湾岸のほうでのタワーマンションとか、あっちのほうに今若い人たちが結構住んでいますけども、ああした所から来られているような方もいるかもしれないので、そういうことも含めて、実施の事業に関してもそれに対応するようなこともやって頂ければという風に思います。</p> <p>私のほうの質問というのが、防災への対策で、江東区のハザードマップによりますと、この地域っていうのは確か洪水に関しては避難地域になっていると思うんですけども、それに対して、防災訓練の場合だと地震かあとは火事とかその程度かなと思うんですけども、その洪水とかに対しての対応ということで避難っていう点ではどのようなことをされていますか。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>私どもが普段行っております防災訓練、これは火災の発生あるいは地震による火災の発生があったりなかったりする、要するに大地震による避難訓練ということで、そういうものを想定してやっておりますので、残念ながら洪水に関する避難訓練というのはやったことがないというのが正直なところでございます。ここは湾岸地域でございますので、すぐ横あるいは前面が運河でございますので、洪水で我々が避難せざるを得ない状況っていうのはなかなか考えにくいのではないかなという風に考えております。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>もし洪水が発生したとすれば、むしろ我々の施設のほうに周辺の住民の方々が避難をしてこられると、高い所に観覧席もございますので、そういう所を目指してたくさんの方がお越しになるので、そういう方々への一時避難場所・一時滞在場所としての機能を果たすことがむしろ我々に求められているかと思えます。</p> <p>それともう一つですが、先ほど利用者のプロフィールが変わってきたということの背景でございますけれども、利用者の住所を調べましたところ、29年度と30年度で変わっております。これは何かと申しますと、29年度に関しては周辺区、江東区をはじめ江戸川区だったり、あるいは隣の浦安市だったり、そういう所からたくさんの方がお見えになっております。これが上位5位くらいに入っているわけですが、30年度に関しましては、新宿区・杉並区・品川区あるいは渋谷区といった所の方々がたくさん見えています。これはどういうことかと申しますと、こ</p>

発言者	内容
	<p>これは私どもの推測ですが、その辺りにある施設が今休館になっております。端的に申し上げますと東京体育館が今休館になっておりますので、そこからたくさんの方がこちらにお越し頂いているのかなという風に見ているところでございます。以上です。</p>
守泉委員	<p>今に関連して、そういうことも当然考えられるとともに、最近、湾岸のほうにも結構色んな企業が出てきているので、企業からの帰りの人で、実際に住んでいるのは新宿かもしれないんだけども帰りがけに寄るとかってその辺のところは考えられないんですかね。</p>
東京辰巳国際水泳場職員	<p>もちろんそういう想定は可能だと思います。とりあえず私どもの手元にある資料としては、住所をお尋ねしてそういうデータが残っているというところでございます。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございます。はい、丸山先生。</p>
丸山委員	<p>時間がありませんので、感想だけ。さっき清掃のアンケートの結果が良くないって言われましたけど、水質、すばらしいですね。さっきご説明頂いてよく分かりましたけども、私は立場上、全国の色んなスポーツ施設を見せて頂くんですけど、間違いなく水質についてはトップクラスです。これからも頑張ってくださいと思います。</p>
小室委員長	<p>では以上をもちまして辰巳国際水泳場を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

二次評価の審議【東京辰巳国際水泳場】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは資料6の、先程の武道館の次にございます辰巳国際水泳場をご覧ください。</p> <p>評価の観点といたしましては、大規模大会を誘致し、施設環境、大会運営の観点から高い評価を受けている。</p> <p>また、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っていることなどの理由からA評価とさせていただきます。</p>
小室委員長	<p>いかがでしょうか。A評価で。</p> <p>色々、先ほど清掃の問題も、まあ原因はかなり分析されていらっしゃるようなので、あとは対応策を今年から講じられていけば、また来年は良くなるかと思えます。では、Aということにいたします。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【駒沢オリンピック公園総合運動場】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

発言者	内容
小室委員長	では、駒沢オリンピック公園総合運動場のプレゼンテーションになります。
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>はい、それでは早速ですが、A4 の資料に基づきまして確認事項ごとに説明させていただきます。</p> <p>まず「施設・設備の保守点検」についてです。私ども東京都スポーツ文化事業団では、利用者の安全安心・快適性を確保するために、長年培ってきた経験とノウハウのもと、長期的視点に立って施設・設備の維持管理を実施しており、老朽化の状況等を踏まえ、平成 30 年度も都との緊密な連携により、第二球技場および補助競技場の人工芝補修、トレーニングルーム更衣室の修繕及び環境改善、軟式野球場防球ネットの設置工事、陸上競技場会議室カーペット更新等を実施いたしました。</p> <p>次に「施設の提供について」ですが、優先受付における緊密・適切な利用調整やスポーツ団体への働き掛け等により、全日本総合バドミントン選手権大会、全日本レスリング選手権、全日本ダンススポーツ選手権、ボルダリングジャパンカップ、ホッケー日本リーグ、全国高等学校サッカー選手権大会、全日本フットサル選手権大会、日本ハンドボールリーグプレーオフなど、実に多様な全国規模の大規模大会が数多く開催されました。</p> <p>次に「施設の設備の安全性の確保」についてです。私ども事業団では毎月 1 回、安全パトロールを実施しておりますが、これは事業団だけではなく、委託先である機械設備維持管理部門、各施設の用具等管理運営部門をはじめ、公園部分を管理する東京都公園協会などと一緒に施設及び園内を巡回し、問題箇所の早期発見や各施設の特性を共有し、利用者への危険性を未然に防ぐことを目的として行っております。また、関係団体実務代表者による「連絡調整会議」の実施、体育館・屋内球技場の木製床の職員による日々のチェックや、専門業者による床面の状況確認、用具の保全や運用方法についての内部研修を実施するとともに、台風や近年のゲリラ豪雨に迅速かつ的確に対処できるよう、新たに対応マニュアルを整備し、対応方法の検証や対応研修を実施するなど、安全安心・快適な利用に向けて不断の取組みを行っております。</p> <p>次に「防災への配慮・緊急時対応」についてです。毎年 1 回、公園管理者と合同で防災訓練を実施するほか、地元警察署・消防署・自衛隊・区役所の協力や地域住民参加による「防災フェスタ in 駒沢」の実施。</p>

発言者	内容
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>更には AED を全施設に配備し、全職員が「普通救急救命講習」を受講、都から支給の帰宅困難者用備蓄品の保管・管理に加え、所独自に食料・飲料水・救急セット等備蓄品の確保など、不測の事態にも迅速かつ的確に対処できるよう、常日頃より万全を期しております。</p> <p>次に、施設の利用状況に関して説明させていただきます。</p> <p>まず個人利用者数ですが、平成 30 年度のトレーニングルーム個人利用実績は 222,701 人で、毎年度、過去最高の利用者数を更新しております。これは、これまで利用者要望調査等により営業時間の変更や設置希望の多いマシンへの入れ替え、マシン配置の工夫など、利用者の需要に見合った対応を継続的に行ってきたこと、また、公園のジョギングコースを利用するランナーのためのランニングステーションの機能を備えていること等によるものと考えております。</p> <p>次に団体利用稼働率ですが、平成 30 年度の体育館・第二球技場・補助競技場の平均稼働率は 97.0%でした。平成 29 年度よりは 0.7 ポイント下落いたしましたが、概ね例年通りの高い水準の稼働率を維持できております。</p> <p>次に「事業の取組み」に関して、スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況についてです。スポーツ振興事業では、駒沢ジュニアサッカースクールなど 16 事業を、また、自主事業ではジュニアベースボール大会など 18 事業を計画どおり実施いたしました。なお、昨年「今後取組むべき課題」として陸上競技場の利用者増のための施策が望まれるとご意見を頂戴いたしましたが、本件につきましては、陸上競技場で団体利用のない日にはトレーニングルーム利用者に対してトラック利用を開放するなど、利用促進を図っているところでございます。</p> <p>次に「サービス向上に向けた取組み」ですが、12/28～1/3 の休館日にも、大会主催者の要望を踏まえて施設を貸し出すなど、利用者サービス向上の取組みを進めるとともに、平成 30 年 7 月には東京 2020 オリンピック開幕 2 年前記念ライトアップとの連携として、駒沢でも全国各地協力施設の 1 つとしてオリンピック記念塔でライトアップを実施し、東京 2020 大会の機運醸成に努めました。</p> <p>次に「利用者ニーズの把握」ですが、利用者満足度調査や利用者懇談会を実施し、要望等の把握に努めております。30 年度の満足度調査では「満足」「やや満足」を加えた総合満足度が 29 年度と比較して 0.4 ポイント増加するなど、高い評価を得ることができました。</p> <p>また、利用者個人からの要望に対しても、弓道場の防矢ネットの高さ調整やトレーニングルームの冷水器の設置・更新など、必要に応じてきめ細かに対応して</p>

発言者	内容
	<p>おります。なお、利用者からの意見・要望については以前からそれらに対する回答と併せて館内に掲示しておりますが、これからもより一層サービス向上に努めてまいります。</p> <p>最後に「公園との連携協力、大規模工事への対応」についてです。現在、駒沢オリンピック公園及び駒沢オリンピック公園総合運動場では、スポーツ施設部分と公園部分の管理主体の異なる二元管理となっておりますが、それ故、管理主体間の連携・協力は非常に重要なことと認識しております。実務担当者間では、毎朝打ち合わせを行い、情報共有を図るとともに、警備業務では、施設毎に個別で警備を行うのではなく、公園全体を一体として警備することで園内全体の治安維持により、事件・事故を未然に防止し、業務の効率化と費用削減を図りました。また、大規模工事への対応として、硬式野球場の増築・改修工事について、東京都や施工業者・公園管理者・競技団体等と密接に連携しながら工事や再開に向けた調整を行いました。また、これらに加え体育館の大規模改修に向けた準備調整や管制塔受水槽更新、弓道場外周塀改修などについても全面的に協力いたしました。以上、公園との連携・協力については大きな課題と認識し、これからも連携を密にして管理・運営に努めてまいり所存でございます。</p> <p>雑駁ではございますが、説明は以上でございます。</p>
小室委員長	<p>私からお聞きしていいですか。</p> <p>個人情報保護の取組みとして、具体的にどういう風な取組みをなさっているのかお聞かせ願えますでしょうか。</p>
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>個人情報の保護につきましては、事業団全体でPマークというのを取得しておりますので、それに則って、個人情報を取得する場合の相手側への表示の方法ですとか、もしくは防犯カメラとかで取得する場合の掲示をしております。あとは個人情報保護台帳というのを設けてまして、取得する場合は全部台帳で管理をして、個人情報保護責任者の承認を得て、毎年監査を受けながら管理していると、大雑把に言うとPマークの指針に則ってやっているということです。</p>
小室委員長	<p>これは先ほど武道館でも同じ質問をさせて頂きましたけど、基本的には東京武道館と同じレベルの対応と認識しておいてよろしいですか。</p>
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>そうですね、事業団として、組織としてPマークを取得しておりますので同じ対応です。</p>

発言者	内容
小室委員長	同じ対応ですね。はい、ありがとうございました。
守泉委員	事業のところで、ちょっと感想みたいな形になるんですけども、新しく、29年度と比べてダンススポーツカーニバルとかジュニアラグビースクールとかっていう形で、新しいものを入れて対応してる部分っていうのは非常に良いことだと思うんですね。ただジュニアベースボール大会が、16チームだから悪くはないんですけども、どうしても最近の傾向として野球場の利用率がちょっと落ちてきているのと、それから野球をやってる人の人口自体も減ってきてますよね。
守泉委員	そういうのに対しての対応を考えた時に、アメリカとかですと、アメリカのボールパークみたいな所だともっと、例えばお年寄りの人なんかは普通に楽しんで野球をやっているんですよ。日本みたいに、巨人の星じゃないですけども必死になってやって負けると泣くみたいなそんな風じゃなくて、ほんとに下手な人たちがみんな楽しんでやって「野球って楽しいね」っていうことをやってきている姿っていうのが本来の姿なんで、そういう面での利用ができるような形の、楽しめる大会みたいなものとかね。それから、ここでできるかどうか分かりませんが、クリケットを入れてみるとかね。なんかそんな風な形で、もうひと工夫っていうことでやって頂けると、野球場の利用率が上がるとともに、本来の野球ってこんな楽しいんだよねっていう風に思えて、ジュニアだけじゃなくてシニアもできるような、そんな感じのものをまた企画して頂ければありがたいなと思いますので、よろしくお願いします。
小室委員長	よろしいですか。 では以上をもちまして駒沢オリンピック公園を終了いたします。ありがとうございました。

二次評価の審議【駒沢オリンピック公園総合運動場】

発言者	内容
渡辺課長	資料6の後ろから3枚目にございます駒沢オリンピック公園総合運動場をご覧ください。 評価の観点としてはですね、利用者が安全で快適にご利用頂けるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っていることですか、個人利用者数は昨年度を上回って、団体稼働率も昨年度並みで、有効な施設利用がなされているということからA評価とさせて頂いております。

発言者	内容
小室委員長	<p>いかがでございましょうか。</p> <p>じゃあ A 評価ということでよろしゅうございましょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【有明テニスの森公園テニス施設】

指定管理者：有明テニス・マネージメントチーム

発言者	内容
小室委員長	<p>それでは、有明テニスの森公園テニス施設のプレゼンテーションと質疑でございます。</p>
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	<p>有明テニスの森公園を管理運営しております、有明テニス・マネージメントチームでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の資料ですが、「平成 30 年度の管理運営状況」と、補足資料「平成 30 年度有明テニスの森公園の主な取組みについて」ということでご用意しております。</p> <p>はじめに平成 30 年度の施設運営状況についてご説明いたします。補足資料の左側をご覧ください。昨年度の上半期は平成 29 年 11 月から東京 2020 大会に向けた大規模改修工事がスタートしたことに伴いまして、屋外テニスコート 48 面のうち 40 面と有明コロシアムの営業を終了し、テニスコート 8 面のみ、仮設のクラブハウス・シャワー・トイレで限定的な営業を行いました。平面図上段の赤枠で囲ったブルーの部分が改修工事のエリアでございます。また、昨年度下半期は平面図の下段になりますが、残り 8 面のテニスコートの営業も終了し、公園を全面閉鎖し改修工事を行ってまいりました。有明コロシウムは年間を通して改修工事を行っていたため、1 年を通じて営業することができませんでした。改修工事は現在も行われておりますが、今年 9 月にコロシウム他、施設の一部が再開する予定となっております。</p> <p>概況は以上でして、続きまして平成 30 年度の管理運営状況を資料に沿ってご説明いたします。</p> <p>まず施設の清掃について、仮設施設での営業となりましたが、施設の清潔さを維持するため、日常清掃を東京都の仕様では週 3 回のところを毎日実施いたしました。また、これまで近隣の学校や企業と協働で清掃活動を行ってきたんですけれども、改修工事に伴い、対象場所が確保できないため実施できませんでしたので、施設再開後に改めて協力を呼びかけて実施していく予定としております。</p>

発言者	内容
	<p>次に人材育成の取り組みですが、新たに「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」に3名が参加しまして、資格を取得しました。現在有資格者が5名、有明テニスには在籍しております。また東京 2020 大会を控え、外国人観光客を迎え入れる立場として、適切なコミュニケーション・おもてなしをするための「語学ボランティア研修」に2名が参加いたしました。</p>
<p>有明テニスの森公園 テニス施設 職員</p>	<p>次に施設の提供ですが、テニスコート8面の大会利用につきまして、管理運営基準に基づき、前年の10月中旬から11月末まで優先受付を実施いたしました。結果、52大会の調整を行い、21大会に対して適正に減免措置を行いました。</p> <p>次に法令等の遵守ですが、個人情報保護の取り組みとして、全スタッフを対象に疑似ウイルスによる標的型メールに対応した「情報セキュリティ緊急時対応訓練」や、セキュリティ担当部署による社内全端末のアクセス状況等の「情報セキュリティ自主検査」を実施いたしました。また、eラーニングによる「情報セキュリティ研修」を実施し、情報漏洩事故に対するスタッフの意識向上を図ってまいりました。</p> <p>次に、安全性の確保として、防災への配慮・緊急時対策ですが、東京 2020 大会時のサイバー攻撃への備えとして、内閣府や警視庁が主導するワークショップに参加いたしました。当公園の情報管理に脆弱性が無いことを確認するとともに、脅威やリスクを把握し、対応能力の向上を図ってまいりました。また、発災時の通報連絡訓練として、安否情報システムによる社員の安否・被災状況について携帯電話から自動収集する訓練や、東京臨海ホールディングスグループ各社との共同防災訓練に参加しまして、被災状況や帰宅困難者受入の伝達訓練を実施いたしました。</p> <p>続きまして施設の利用状況ですが、テニスコート8面は半年の営業期間で30,721人の利用があり、全体使用率は84.1%となりました。団体利用施設の使用率は100%でございました。改修工事のため大幅な実績減となりましたが、限られた施設を効率的に稼働することができました。</p> <p>次に、スポーツ振興事業の実施状況ですが、これまで開催してきた、有明の森スポーツフェスタ、キッズ&ジュニアテニスカーニバル、東京都知事杯は、改修工事のため開催することができませんでした。このため、施設再開後のスポーツ振興事業等の充実策として、現事業の見直しを関係者と行いまして、キッズ&ジュニアテニスカーニバルではファミリー層への「親子レッスン」の新設、東京都知事杯は3対3で試合を行う3人制テニス「トリプルス」を採用し、シニア層で</p>

発言者	内容
<p>有明テニスの森公園 テニス施設 職員</p>	<p>もテニスの試合を十分楽しめる大会として今年度実施すべく、新たに企画提案を行いました。</p> <p>次に、自主事業の実施状況ですが、テニススクール事業は 3,626 名の利用がありました。改修工事に伴い限定的な営業であったため、大幅な減となりましたが、テニス人口の底辺拡大、生涯スポーツとしてのテニスの普及に貢献しております。その他、1Day レディーストーナメント、一般 MIX ダブルス対抗戦を実施いたしました。</p> <p>次に、利用者に対するサービス提供事業の実施状況ですが、熱中症対策として、フロントに塩分補給飴を用意し、無料配布を行いました。また、発症時に備え、経口補水液の用意、応急手当マニュアルの整備を行いました。結果、昨年度は熱中症を発症した利用者はございませんでした。</p> <p>次に、利用者ニーズの把握・利用者の満足度ですが、日本テニス協会と利用者懇談会を開催し、改修工事後の施設運営に関する意見交換を行い、ニーズの把握を行いました。また、一般利用者の満足度について、「公園の快適さ」や「スタッフの対応」の満足度が高かった一方で、「仮設トイレ」に関して「暑い」等の不満の意見が多く示されたことから、扇風機を速やかに設置するなど改善策を講じました。</p> <p>次に、大規模工事への対応ですが、上半期営業しておりましたテニスコート 8 面及び仮設クラブハウス等の施設を計画どおり 9 月末に閉鎖し、改修工事のスケジュールに支障が出ないよう円滑に工事側に引き渡すことができました。下半期は、工事への協力と並行して改修工事後の施設運営に関する検討を行うなど、再開後に向けて準備を進めてまいりました。具体的には、工事側からコロシウムやショーコートの座席番号の設定や、館内サイン、鍵の運用方法等について検討依頼がありましたので、これまでの管理状況を踏まえて検討・提案を行うなど、改修工事に適切な協力を行いました。また、改修工事後の施設新料金に係る条例改正に向けて、全国の類似施設の料金を調査し、有明テニスの森の現行料金の検証を行うなど詳細な検討を行いまして、新料金案を東京都に提案いたしました。検討にあたっては、一般利用者の負担が大きくなるよう配慮するとともに、全体の採算性確保に努めました。次に、改修工事後の設備機器運用に万全を期すため、新たな設備機器に応じた機器点検仕様書や操作マニュアルを作成するなど、着実な準備を進めてまいりました。</p> <p>また、改修工事後に調達する備品につきまして、都が推進する多摩産材を積極</p>

発言者	内容
	<p>的に利用する方針とし、木工業者と調整を進めてまいりました。下半期の休館期間中は、この他にも新規施設を含む運用ルールの再構築ですとか、優先受付および大会調整業務の見直しだとか、東京 2020 大会に関する組織委員会との調整などの業務を行ってまいりました。今年 9 月に、いよいよ施設が再開しますが、引き続き改修工事への協力や東京 2020 大会に向けた準備など、東京都事業に積極的に協力し貢献すべく取組んでまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先生方、何かございますか。</p>
小海委員	<p>1 点、今の説明にはなかったと思うんですけど、頂いた資料のほうでは、自主事業とか利用者サービス事業の収支状況のデータがあるんですね。それで、その自主事業と利用者サービス事業が 30 年度に赤字っていう形の報告だと思うんですけど、これって 30 年度は改修があったので、とかいう理由なのか、それとも今後もこういう形なのか、29 年度はどうだったのかというのをちょっと教えて頂ければと思います。</p>
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	<p>まずは自主事業につきましては、テニススクールの収入等も計上していたんですけれども、半年で 8 面のテニスコートしかなかったということでだいぶ減収になっておりまして、それが要因として挙げられるのかなと思います。なので 30 年度に限り、自主事業について収支状況はそういった状況になってございまして、再開後はまた以前のような状況に戻ってくる予定でございまして、利用者サービス事業につきましては、30 年度は時間貸し駐車場を完全に閉鎖していたことと、あと自販機を、かなりの台数をこれまで設置していたんですけれども、それをテニスコート 8 面に合わせて 1 台のみにした関係で、だいぶ収入が減となりましたので、こちらも再開後は元の、きちんと収支がとれている形に戻っていく予定でございまして。</p>
小海委員	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
小室委員長	<p>お聞きしていいですか？今発表がありました大規模工事への対応のところ、多摩産材の利用について一番最初に書いてありますが、今かなり完成に近い状態になっていると思うんですけど、多摩産材を使っているところはどこか教えて頂けますか？</p>

発言者	内容
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	まずはインドアコートの屋根の、湾曲した梁の部分と、あとフロント周りですね、そこで多摩産材を使用していると聞いております。
小室委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ちょっともう1つだけ質問してもいいですか？48面のうち8面を残した営業、これは29年度から30年度にかけてだったんですけど、東京都の考え方として、最初から48面全部工事に入るといった選択肢もあったところを、利用者対応ということで8面だけでも可能な限り営業できるように使ったほうがいいんじゃないかという考え方があって、このような選択を取ったんですが、今この8面営業の期間全部を終えてみて、8面営業はやはり開けていたことが良かったのかどうなのか、ちょっとその効果について教えて頂けますでしょうか。</p>
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	8面営業につきましては、29年の11月から昨年9月まで、約1年営業していた訳ですが、かなり近隣の中高生の大会ですとか、定例的に使われていたところが継続して使えましたので、その面ではかなり効果があったと思います。改めて周辺のテニスコートで、こういった時間貸しで借りられるような所を色々調べたんですけども、ほとんど区営のコートしかない状況でして、いかに有明にテニス利用者が集中していたんだということをこの機会によく分かることができました。なので、現在は完全に休館していますが、我々としては8面だけでもそのまま継続していければという思いもあったんですけども、そこは利用者の方もよく理解して頂いていたので、昨年無事に何事もなく予定通り休館ができたというところです。
小室委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>はい、丸山先生。</p>
丸山委員	昨年と同様の質問をさせていただいたのですが、本格的なテニスまではいかないけれど、ミニテニスといって誰にでも楽しめるニュースポーツがあります。実は、去年の4月29日に、米国発の、硬式テニスを易しくした「パドルテニス」というニュースポーツで、施設をお借りして、お世話になりましたが…。
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	有明の森スポーツフェスタの際にですか？

発言者	内容
丸山委員	はい、そうです。一般的には、そういったニュースポーツなんかも、借りるつもりになればお借りできるってということなんではないでしょうか？とてもそういう余裕がないとか、テニスでもういっぱいなのか。今は無理ですけれども、全面的に使用できるようになってからの話なんです、テニスだけで精一杯で他の入る余地がないのか、あるいは場合によってはそういうスポーツでも入れると言えるのか、ちょっとその辺の状況を教えて頂きたいと思います。
有明テニスの森公園 テニス施設 職員	土日の営業に関しては、利用率がほぼ 100%に近いと聞いていまして、平日の時間帯によってはもちろん空きがございますけれども、季節とか時間帯によりけりというところはありまして、もともと硬式だとかソフトテニスの大きさのコート仕様になってますので、そこにどういった形でミニテニスとかを運営していったらいいのか、ちょっと具体的な検討まではまだしておりません。今後、将来に向けてそういった可能性というか、レガシー工事とかの状況も踏まえて色々な可能性は考えておきたいなと思っております。ただ実際、イベントの際とかにパドルテニスを楽しまれるお客様とかの声も聞いていますので、引き続きそういった機会を通じて、将来的に色々なことを考えていきたいなと。ただ常設というところとちょっと色々な問題があるかと思っておりますので、できる範囲で検討していきたいと思っております。
丸山委員	ありがとうございます。
小室委員長	では有明の森テニス公園テニス施設さん、どうもありがとうございました。

二次評価の審議【有明テニスの森公園テニス施設】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは資料6の後ろから2枚目、有明テニスの森公園テニス施設をご覧ください。</p> <p>評価の観点といたしましては、情報セキュリティに対し、研修強化に努めていることとか、大規模改修に伴い、屋外コート、Bコートですね、8面のみになりますけれども、9月までの営業となりましたが、施設利用料収入は当初計画を上回り、また支出についてもほぼ当初計画どおりの水準となっているということなどからですね、A評価となっております。</p>
小室委員長	<p>はい、A評価ということで、いかがでございましょう。</p> <p>ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【若洲海浜公園ヨット訓練所】

指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

発言者	内容
小室委員長	では若洲海浜公園ヨット訓練所のプレゼンテーションでございます。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>みなさんこんにちは。若洲海浜公園ヨット訓練所の指定管理者であります、若洲シーサイドパークグループ、東京港埠頭株式会社でございます。これからお手元の資料に沿って、平成 30 年度の若洲海浜公園ヨット訓練所の適切な管理の履行状況についてご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>なお、下線が引いてある部分につきましては、わがグループが最も強調したい部分でございます。また、参考資料といたしまして、各確認項目ごとに①から⑩までの写真を載せてありますので、そちらもご覧頂ければと思います。</p> <p>まずはじめに、適切な管理の履行状況についてです。利用者の安全・安心を確保するため、施設等の日常巡回点検を着実に実施し、不具合個所の早期発見・修繕を徹底するなど迅速な対応を行った。不具合対応件数 90 件の内、80 件を直営作業で実施しました。施設補修は、お客様に安心かつ清潔な環境を提供するため、各トイレの補修、便器やフラッシュバルブ等の交換を行った。また、ヨット・レスキュー艇昇降用スロープの清掃作業等を適切に実施し安全を確保するとともに、施設の景観維持のため、枯枝撤去や整枝剪定、実生木の伐採等の樹木管理を適宜実施した。設備の老朽化が進む中、緊急補修やより多くの不具合に対応できるよう、予算の効率的な執行を図るとともに、日々のヨットの小規模な修理やメンテナンス、樹木管理、スロープ清掃は、スタッフ直営による作業を実施し、施設の適切な管理に努めた。</p> <p>次に安全性に向けた事故防止策です。これは、ヨット教室の運営にあたって当社が最も重要とする点でございます。平成 30 年度の取組みといたしましては、本年度も様々な安全対策を継続的に実施し、1年間を通じて無事故を実現した。ヨット教室の安全・安心確保に向けた取組み、①経験豊富なインストラクターの配置。こちらが日本セーリング連盟認定のバッジテスト中級以上の者です。②教室開催前のインストラクター全員でのミーティングによる情報共有の徹底。当日の参加者の技量に合わせたスケジュールや当日の気象及び海象情報を確認しております。③教室開催中の無線による状況確認及び情報交換。④リアルタイムで気象・海象をチェックし、適宜情報を提供しております。⑤監視カメラによるヨットの動向及び周辺海域の監視。⑥受講者数に応じたレスキューボートの配置。⑦教室で使用する艇の事前・事後点検の徹底をしております。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>次に防災への配慮・緊急時対策への取組みについてです。地震等の大規模災害への適切な対応に向けて、現場独自の防災訓練の他、東京都の一時滞在施設開設の訓練や本社と連携した情報伝達訓練など、積極的な防災訓練の実施を通じて災害時における危機管理能力の向上を図った。こちらは平成31年2月26日に若洲地区、ゴルフ・キャンプ・若洲協議会で総合防災訓練を実施しております。避難誘導訓練やAEDの使用方法等、実践的な訓練を実施しております。一時滞在施設としての受入訓練。こちらが帰宅困難者の対応訓練やMCA無線、緊急電話等の使用訓練を実施しております。続きまして平成31年の2月28日、こちらが安否確認システムを活用した本社との大規模地震初動対応訓練を実施しております。</p> <p>次に事業の取組みの中でのスポーツ振興事業の取組みについてです。事業計画に基づき、セーリング普及に向けた若洲ヨット祭りや障がい者体験乗船会、ジュニア育成に向けたマンスリーレガッタ等の事業を実施した。特に障がい者体験乗船会については、日本セーリング連盟・日本障害者セーリング協会・日本視覚障害者セーリング協会の3団体と連携・強化を図り、開催回数を昨年度の1回から2回に増やし、より多くの参加者を受け入れた。今後は、将来的な障がい者教室開催も視野に入れて、障がい者体験乗船会の開催回数増を検討する。こちらの障がい者体験乗船会の参加者数は、平成29年度9月、こちらが参加の方12名、スタッフ36名、計48名で開催いたしました。平成30年度が6月と9月に開催しまして、参加者が22名、スタッフ49名、計71名の参加がありました。</p> <p>次に利用者の満足度についてです。利用者向けアンケートでの結果では、施設の総合満足度91%、受付窓口の対応91%、ヨット教室の内容94%、インストラクターの対応96%等、主要な項目で「大変よい」もしくは「よい」とお答え頂くなど、今年度も昨年に引続き教室運営についての高い評価を頂きました。また、施設全体で更なる満足度向上に向けて「ウェルカムガーデンの設置」「冬場のコーヒー無料サービス」「夏場の熱中症対策として、麦茶・塩飴の無料配布」「アンケート結果の公表」等を行い、お客様が快適に過ごせる環境作りを行いました。</p> <p>次に利用促進への取組みについてです。事業計画に基づき、「ヨット体験乗船会」「Tokyo Junior Youth」「高等学校ヨット部活動支援事業」等の普及啓発及び育成事業を行った。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>運営にあたっては、経験豊富なスタッフにより、年間を通じて育成指導を行い、本年度も、この育成事業から多くの生徒が選手権等へ出場しました。入賞実績としまして、①関東水域 OP 級ヨットレース、こちらが 42 名参加で、2 位及び上位に 4 名の方が入賞しました。②稲毛ウィークヨット選手権大会、こちらが 12 名の参加がありました。③福井国体 420・レーザー級で、30 名参加で 2 位及び入賞者が 5 名おりました。また、昨年度から引き続き不登校児童セーリング支援事業の実施やイベント誘致を積極的に行い、施設の有効活用を図るとともに、施設の更なる PR とセーリングの普及を推進した。こちらの不登校児童セーリング支援事業のほうが、平成 29 年度が 7 月・9 月の 2 回実施で、参加生徒 25 名、スタッフ 14 名、計 39 名で実施しました。平成 30 年度のほうが、7 月・8 月・9 月と 3 回実施しまして、生徒 51 名、スタッフ 24 名、計 75 名の参加がありました。大会・イベント誘致ですけれども、全日本大学生個人戦選手権のほうが、こちらが 8 月・9 月で、参加大学が全国で 22 大学、2,550 名の参加がありました。</p> <p>以上の通り、平成 30 年度の事業の運営にあたり、若洲シーサイドパークグループでは、ヨット教室運営にあたっては利用者に安心安全で質の高いサービスの提供を行うとともに、スポーツ振興や育成事業においても、障害者向けのプログラムや若手の競技向上への取組みを積極的に実施し、ヨット訓練所の魅力と価値の向上を図ってまいりました。今後も引き続き施設の魅力向上に向けた取組みを継続してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。以上で平成 30 年度若洲海浜公園ヨット訓練所の説明を終わります。ご清聴どうもありがとうございました。</p>
小室委員長	<p>ありがとうございました。では先生方ご質問をお願いします。</p> <p>ちょっと私のほうから、お聞きします。</p> <p>個人情報保護の取組みについて、具体的にどういうことをなさっているのかお教え頂けますか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>まず、鍵付きの書庫がありますので、毎朝そこを開けますと、その日のお客様の予約名簿が全て入っております。鍵を各自で持っておりますので、朝にそれを開けて、帰る時にはボックスの中に入れて、鍵を閉めて帰っております。</p>
小室委員長	<p>悉皆研修をやっているという風に資料にあるんですけど、これは毎年全社員悉皆でどういう研修をされているのでしょうか。</p>

発言者	内容
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>個人情報につきましては、まず毎年全社員、当社指定管理者の全社員悉皆というところで、例年1回、個人情報に関する研修をしているところでございます。</p> <p>内容につきましては、例えば個人情報の取扱いなどで、多数のお客様にメールを送付する場合に、ccに入れたりする恐れがないように、必ず bcc で入れる、いうところの、内容としては当たり前なんですけれども、そういったところを例年継続して守っていこうというところで研修を実施しております。</p>
小室委員長	<p>研修の事業者は外部の方でしょうか。それとも内部の職員の方がやっているのでしょうか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>年度によるんですけれども、内部の講師もありますし、外部の講師を呼んだりするケースもございます。</p>
溝延 課長代理	<p>事務局より追加でちょっと確認なんですけれども、有明でやっているようなeラーニングを同様にやられてはいるんですか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>eラーニングもやっております。</p>
溝延 課長代理	<p>同じようにやられているということですか。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>はい。</p>
丸山委員	<p>6月28日に施設を見学させて頂きありがとうございました。大変熱心にご説明を頂きましてよく分かりました。航路の向こう側まで行かれるっていうご説明を頂いたんですけれども、危険はないんですかね。</p>
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>一応ですね、直角に渡るっていうのを徹底してます。監視として、救助艇で両側から見てますんで、大きい船が来た時には注意を、笛を吹いてヨットを止めるとか、行っていいとか、それをやらしております。</p>
丸山委員	<p>そうですか、お疲れ様です。</p>
小室委員長	<p>私からもう1つ。障害者のヨットの教室について、29年度から30年度で回数も増やされて、障害者の方のご参加が大きく増加したというのは、本当にご努力なさっていらっしゃるんだなあとお見受けしたんですけれど、やはり1回で</p>

発言者	内容
	受け入れられる方々の数に限りがあるので、今後増加することを目論むとなると、やはり回数を増やすっていう方向になるんでしょうか。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	はい。1回ですとキャパシティが決まっております、障害者様用のヨットの数も限られてますし、また、その対応が、車椅子とか、手のご不自由な方とか、そういうのでなかなか大変なんですけれども、1回の人数が増えますとちょっと対応できないんで、2か月に1回とか細かく回数を増やして、できるだけ広く、障害者の方に来て頂くというのが目標でございます。
小室委員長	障害者の乗船用のクレーン型のリフトを付けましたけど、こういう風な体験会で主に使われることが多いんでしょうか。その他に使われる機会っていうのはございますか。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	車椅子の方は下半身が不自由なので、そのリフトを2基付けて頂いたんで、有効に使っております。それ以外に一般の方がそれを使ってということはやっておりません。障害者の方専用でございます。
小室委員長	ありがとうございました。では以上をもちまして若洲ヨット訓練所をこれで終了いたします。どうもありがとうございました。

二次評価の審議【若洲海浜公園ヨット訓練所】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは資料6の一番最後のページです、若洲海浜公園ヨット訓練所をご覧ください。</p> <p>評価の観点でございますけれども、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っていること。また、障がい者の体験乗船を積極的に実施していること。</p> <p>こういったことからA評価とさせて頂いております。</p>
小室委員長	ではこちらAということよろしゅうございましょうか。 ありがとうございます。

全体整理

発言者	内容
小室委員長	それではこれで全部二次評価が終わったところでございますが、全体を通して確認したいとか、施設を一気通貫して調整すべきような事項がありましたらこの

発言者	内容
	<p>場でご指摘をお願いしたいと思います。いかがでしょう。</p> <p>色々有意義なお話ありがとうございました。</p> <p>それでは、全体を通して事務局が都度確認させて頂いた評価で最終評価ということにさせていただきます。</p> <p>以上で本日予定しておりました審議は終了となります。</p> <p>本日は長時間に渡りまして各先生方にご協力頂きありがとうございました。</p>